

施設カルテ(案) リスト

【主なもの】

整理番号	土地・建物名等	所在地	用地面積	主な地域地区等 (容積率/建ぺい率)	備考
1	鎌倉市役所 (跡地含む)	御成町 (鎌倉地域)	14,361.54㎡	第二種住居地域 (200%/60%) 第3種風致地区※	移転方針のため、 跡地となる予定
2	梶原四丁目用地 (野村総合研究所跡地)	梶原 (深沢地域)	175,388.05㎡	主に市街化調整区域 (80%/40%) 第2種風致地区※	寄付・既存建物有
3	深沢地域整備事業用地	寺分 (深沢地域)	約26,000㎡ (行政用地部分)	未定で現状は、 工業地域等 (200%/60%)	区画整理事業による区画で 総合体育館、プール、 消防本部を移転整備予定
4	扇湖山荘	鎌倉山 (深沢地域)	約46,800㎡	市街化調整区域 (80%/40%) 第2種風致地区※	寄付・既存建物有 サウンディング実施済
5	資生堂鎌倉工場跡地	岩瀬 (大船地域)	約5,200㎡ (寄附予定部分)	準工業地域 (200%/60%)	寄付される予定 企業等の誘致

【旧邸宅など】

6	旧華頂宮邸	浄明寺 (鎌倉地域)	4,462.77㎡ (借地)	第一種低層住居専用地域 (80%/40%) 第2種風致地区※	建物のみ寄付 登録有形文化財 景観重要建築物等
7	旧前田邸	長谷 (鎌倉地域)	4,474.66㎡	市街化調整区域 (80%/40%) 第2種風致地区※	寄付・既存建物有 鎌倉文学館に隣接
8	旧和辻邸	雪ノ下 (鎌倉地域)	7,748.15㎡	市街化調整区域 (80%/40%) 第2種風致地区※	寄付・既存建物有 景観重要建造物 市街化調整区域含む
9	旧今井邸跡地	由比ガ浜 (鎌倉地域)	1,550.51㎡	第一種中高層住居専用地域 (150%/60%) 景観地区	更地となっており、(仮称)由 比ガ浜こどもセンター建設工 事ヤードとして使用中
10	旧村上邸	西御門 (鎌倉地域)	1,677.50㎡	第一種低層住居専用地域 (80%/40%) 第2種風致地区※	寄付・既存建物有 サウンディング実施済 景観重要建築物等

【他の事業で検討中(売却含む)】

11	扇ガ谷用地	扇ガ谷 (鎌倉地域)	5,477.44㎡	第一種低層住居専用地域 (80%/40%) 第2種風致地区※	寄付、(仮称)鎌倉博物館予 定地(一部鎌倉歴史交流セン ターへの通路)
12	深沢クリーンセンター	笛田 (深沢地域)	15,719.49㎡	第一種中高層住居専用地域 (150%/60%) 高度地区	市営住宅の集約先として検討 中
13-1	市営住宅用地 (市営植木住宅)	植木 (玉縄地域)	11,712.04㎡	第一種住居地域 (200%/60%) 準防火地域	移転集約のため、集約先以外 は跡地となる予定
13-2	市営住宅用地 (市営深沢住宅)	深沢 (深沢地域)	12,245.10㎡	第一種住居地域 (200%/60%) 準防火地域	
13-3	市営住宅用地 (市営笛田住宅)	笛田 (深沢地域)	5,882.71㎡	第一種中高層住居専用地域 (150%/60%) 高度地区	
13-4	市営住宅用地 (市営梶原住宅)	梶原 (深沢地域)	4,405.36㎡	第一種中高層住居専用地域 (200%/60%) 高度地区	
13-5	市営住宅用地 (市営梶原東住宅)	梶原 (深沢地域)	5,218.50㎡	第一種中高層住居専用地域 (200%/60%) 高度地区	
13-6	市営住宅用地 (市営岡本住宅)	岡本 (玉縄地域)	5,181.30㎡	工業地域 (200%/60%)	

14-1	材木座保育園敷地	材木座 (鎌倉地域)	1,200.23㎡	第一種住居地域等 (200%/60%) 景観地区	(仮称)由比ガ浜こどもセンター (H29.11開設予定)への移転に より跡地となり売却予定
14-2	稲瀬川保育園敷地	長谷 (鎌倉地域)	1,496.52㎡	第一種住居地域等 (200%/60%) 景観地区	

【その他】

15	二階堂用地	二階堂 (鎌倉地域)	1,506.84㎡	第一種低層住居専用地域 (80%/40%) 第2種風致地区※	市民農園用地として取得後、 平成27年度に市民農園として の事業目的を廃止。
16	旧市営 ^{ベニガヤツ} 弁ヶ谷住宅用地	材木座 (鎌倉地域)	8,668.66㎡	第一種低層住居専用地域 (80%/40%) 第2種風致地区※	別途市街化調整区域約4,000 ㎡あり

※ 風致地区は建ぺい率40%

施設カルテ (案) 整理番号: 1 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	鎌倉市役所		
所在地	御成町18-10	設置日	昭和44年4月
行政地域	鎌倉地域	所管部署	総務部管財課
施設分類(再編計画)	(1)本庁舎・支所	設置条例	鎌倉市役所の位置を定める条例
財産区分	行政財産	根拠法	-
具体用途	市役所	管理形態	直営
設置目的など	現在の鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉)の位置から当時移転整備された。		

写真(外観)



写真(内観)



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	270,000円/㎡
実測:	14,361.54㎡	取得価額等	-
建築確認:	14,361.54㎡	評価額等	-
所有形態	市有地	想定定期借地料	101百万円/年(注)
用途地域等	第二種住居地域		
容積率等	200/60		
その他の地域地区	第3種風致地区/埋蔵文化財包蔵地/宅地造成工事規制区域/土砂災害警戒区域(一部)/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	北側の道路(藤沢鎌倉線)とは接道部中央付近で高低差なし		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) ほぼ平坦な整形地。		
アクセス	JR鎌倉駅から徒歩5分ほど		

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	16棟(本庁舎)	全棟延床面積(M)	13,508.37㎡	建物の状況 (老朽化、活用の可能性など) 最低限の耐震化は実施済み。建物・設備は老朽化が進んでいる。大規模な改修が必要だが、Is値0.6で利用可能な施設への転用の可能性はある。
主要棟構造	RC造一部S造	主要棟延床面積	11,974.87㎡	
主要棟階数	地上4階地下1階建て	主要棟建築年度	昭和44(1969)年	
主要棟耐震性能	耐震改修済 Is値:0.6	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロースロープ: 有り 多目的トイレ: 有り	建物内スロープ: 無し エレベータ: 有り		

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	
浸水情報	津波想定浸水範囲(0.5m未満(一部0.5~1.2m))	屋内: -
災害対応施設の指定等	災害対策本部・災害応急対策活動拠点	屋外: -
周辺の災害対応施設の指定等の状況	御成小・中学校(避難所)/御成中学校(広域避難場所・津波避難ビル)/鎌倉生涯学習センター(一時滞在施設)	

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	111,857件	109,729件
利用状況	証明書等の件数	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料	11百万円	11百万円
(駐車場・自動販売機設置場所貸付他)		
その他	-	-
合計(T)	11百万円	11百万円
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
建物管理委託費等	104百万円	88百万円
光熱水費	39百万円	44百万円
修繕費	32百万円	37百万円
大規模修繕等工事費	8百万円	83百万円
土地・建物等賃借費	19百万円	20百万円
その他	20百万円	17百万円
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	222百万円	289百万円
利用あたりの支出(P/N)	-	-
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	16,434円/㎡	21,394円/㎡

施設カドテ

整理番号： 1 - 裏

平成29（2017）年度版

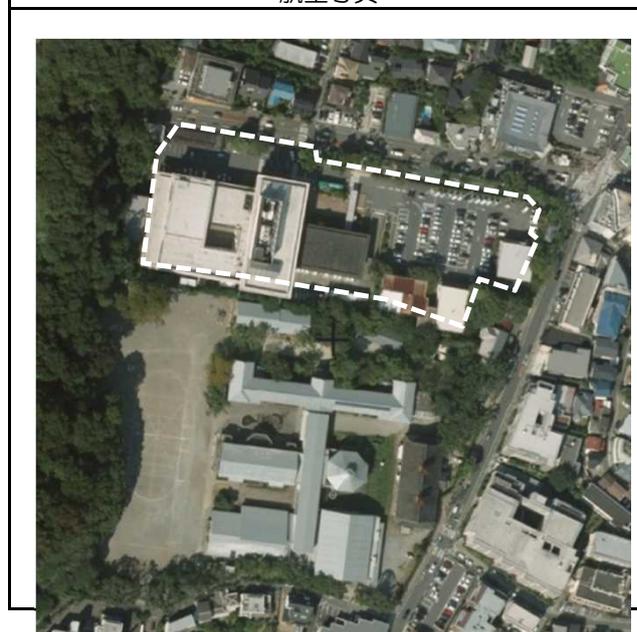
8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要
平成9～17年度	本庁舎耐震工事	450,000千円	48箇所耐震壁設置

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など> 平成29年3月に本庁舎は「移転して整備する」とした「鎌倉市本庁舎整備方針」を策定。策定の際には、「鎌倉市役所整備方針市民対話」として、市民との対話を進め、「市民の想い」を取りまとめた。

<支障となっている課題など> 移転先の検討と移転先と現在地との機能分担などの検討が必要。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面> 中央図書館、鎌倉生涯学習センター、福祉センターといった公共施設の再編が課題。
 <個別施設面> 普段は関係ない場所、一等地なのに市役所ではもったいない、地震や津波の際の懸念などの意見があり、求める本庁舎の姿に災害発生時でも機能する本庁舎などがあった。

11.サウンディング調査

未実施

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・御成小学校、御成中学校
- ・旧図書館 ・中央図書館
- ・福祉センター
- ・鎌倉生涯学習センター（きらら鎌倉）
- ・歴史文化交流センター
- ・御成町在宅福祉サービスセンター
- ・鎌倉御成交番、鎌倉水道営業所（県施設）
- ・鎌倉税務署（国施設）

【注記】

- ・容積率等の記載内容：（容積率）／（建ぺい率）
- ・想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ (案) 整理番号: 2 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	梶原四丁目用地(野村総合研究所跡地)		
所在地	梶原4-7-1	設置日	平成14年7月17日
行政地域	深沢地域	所管部署	文化財部文化財課
施設分類(再編計画)	対象外施設(⑧その他)	設置条例	-
財産区分	普通財産	根拠法	-
具体用途	-	管理形態	直営
設置目的など	寄付		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	108,000円/㎡
実測:	175,388.05㎡	取得価額等	-
建築確認:	160,784.64㎡	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	1,228百万円/年(注)
用途地域等	第一種低層住居専用地域 21,521㎡ 市街化調整区域 139,263,64㎡		
容積率等	80/40 / 100/50		
その他の地域地区	歴史的風土特別保存地区(11,500㎡)、歴史的風土保存区域(22,441.17㎡)、風致地区(市街化調整区域の一部)、第2種風致地区(風致地区全域)、国指定史跡 北条氏常盤邸跡(一部)、埋蔵文化財包蔵地(全域)、宅地造成工事規制区域/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	敷地入口から建物周辺・グラウンドまでは坂を登る必要あり。		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 道路と建物が建っている位置までの高低差があるほか、敷地内の道路に橋があり、耐震性や老朽化に課題がある。小規模なグラウンド(広場)がある。		
アクセス	梶原バス停より徒歩1分程度		

3.建物情報			
棟数(主要棟名)	4棟(本館)	全棟延床面積(M)	15,402.62㎡
主要棟構造	鉄筋コンクリート造	主要棟延床面積	7,369.20㎡
主要棟階数	地上5階建て	主要棟建築年度	昭和41(1966)年
主要棟耐震性能	耐震改修未済(耐震診断未済) -	取得価額等	-
バリアフリー	出入ロースロープ: 無し 多目的トイレ: 無し	建物内スロープ: 無し エレベータ: 無し	建物の状況 (老朽化、活用の可能性など) 老朽化が進んでいる。 新館については平成18年1月に実施した耐震診断結果において「補強の必要なし」であった。

4.防災情報			
災害危険区域等	土砂災害警戒区域(敷地北側接道部付近)		受入避難者数
浸水情報	-		屋内: - 屋外: -
災害対応施設の指定等	-		
周辺の災害対応施設の指定等の状況	深沢小・中学校(避難所)/鎌倉中央公園・源氏山公園(広域避難所)		

5.利用状況		
	平成28年度	平成27年度
年間利用数(N)	不明(一般開放)	不明(一般開放)
利用状況	敷地内は年末年始を除き朝9時から夕方17時まで一般開放している。敷地内のグラウンドは、土曜日・日曜日はスポーツ団体が練習等に活用している。また、市民ボランティアによる竹林整備活動を定期的に行っている。	

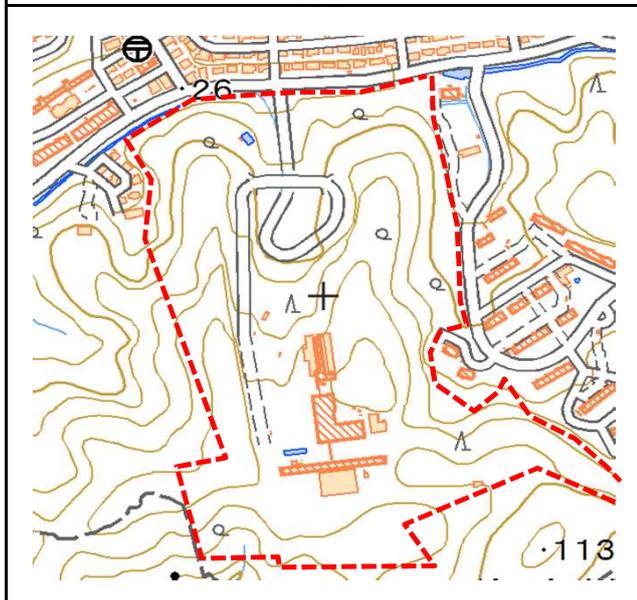
7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料(撮影)	0.2百万円	0.6百万円
その他	-	-
合計(T)	0.2百万円	0.6百万円
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	0.1百万円	0.1百万円
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他(建物機械警備等)	2.2百万円	2.5百万円
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	2.3百万円	2.6百万円
利用あたりの支出(P/N)	-	-
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	149円/㎡	169円/㎡

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

＜検討経過など＞

平成17年に野村総合研究所株式会社より寄贈を受ける。平成17年度、野村総合研究所跡地土地利用等基本計画策定。平成21年度、野村総合研跡地にかかる今後の基本方針策定。平成22年度より、文化財課の所管となる。

＜支障となっている課題など＞

建築物および敷地内道路の野村橋の老朽化。

10.市民ニーズ・行政課題

＜行政地域面＞

＜個別施設面＞

開放している敷地内は、市民の憩いの場となっており、利用している市民から、草刈等の環境保全の要望がある（随時）。
また、近隣住民より、敷地内の樹木の伐採等の管理の要望がある（随時）。

11.サウンディング調査

実施なし。

12.利活用の方向性

備考

駐車場94台、市民への一般開放（建物除く）

周辺の主な公共施設

- ・ 深沢こどもセンター
（保育園・子育て支援センター・障害児活動支援センター）
- ・ 市営梶原東住宅、市営梶原住宅
- ・ 梶原子ども会館
- ・ 常盤山緑地管理施設管理棟
- ・ 梶原口交番

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率）／（建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カドテ

(案)

整理番号： 3 - 表

平成29（2017）年度版

1.基本情報			
施設名称	<small>フカサワ</small> 深沢地域整備事業用地		
所在地	寺分字陣出8ほか	設置日	平成9年3月～平成20年3月に取得
行政地域	深沢地域	所管部署	拠点整備部深沢地域整備課
施設分類（再編計画）	（区分外（土地のみ））	設置条例	-
財産区分	普通財産	根拠法	-
具体用途	深沢地域整備事業	管理形態	直営
設置目的など	鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の都市拠点形成のため		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	148,000円/㎡
実測：	約26,000㎡	取得価額等	-
建築確認：	-	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	182百万円/年（注）
用途地域等	工業地域 / 第一種住居地域（いずれも現状）		
容積率等	どちらも 200/60（現状）		
その他の地域地区	埋蔵文化財包蔵地/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	接道との高低差なし（現状）		
土地の状況	（安全性、管理の状況など）敷地面積は、土地区画整理事業後の行政街区の想定面積を記載しており、公園・スポーツ施設用地約30,000㎡が隣接する計画となっている。現在は約81,000㎡。敷地はほぼ平坦で、土壌汚染対策処理済。		
アクセス	湘南モノレール湘南深沢駅徒歩2分		

3.建物情報			
棟数（主要棟名）	全棟延床面積（M）	建物の状況	
主要棟構造	主要棟延床面積	（老朽化、活用の可能性など）	
主要棟階数	主要棟建築年度	（ ）年	
主要棟耐震性能	取得価額等		
バリアフリー	出入ロスロープ： 多目的トイレ：	建物内スロープ： エレベータ：	

4.防災情報			
災害危険区域等	-		受入避難者数
浸水情報	洪水・内水浸水想定区域（0.5m未満）		屋内： -
災害対応施設の指定等	広域避難場所（現状）		屋外： -
周辺の災害対応施設の指定等の状況	深沢中学校、富士塚小学校（広域避難場所）/深沢中学校、深沢小学校、富士塚小学校（避難所）		

5.利用状況		
年間利用数（N）	平成28年度	平成27年度
	-	-
利用状況	多目的スポーツ広場、スポーツセンター、テニスコート、駐車場などに貸付け	

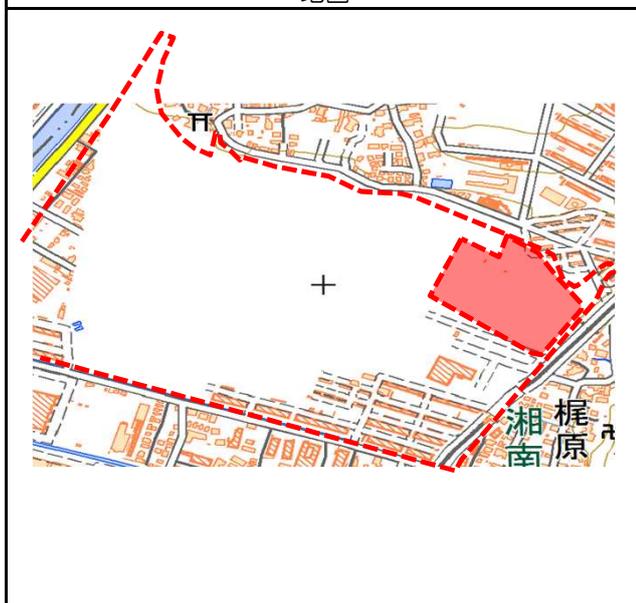
7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	-	-
貸付料	28.4百万円	26.2百万円
その他	-	-
合計（T）	28.4百万円	26.2百万円
利用あたりの収入（T/N）		

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
施設コスト（C）		
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他（草刈等）	2.4百万円	1.5百万円
減価償却相当額	-	-
合計（P）	2.4百万円	1.5百万円
利用あたりの支出（P/N）	-	-
1㎡あたりの施設コスト（C/M）	-	-

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要
H16～H27	土壌汚染対策処理等	416,219千円	内、市負担は、26,817千円

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の都市拠点形成のため、市有地約8.1haのほか、JR大船工場跡地（JR東日本所有）約17.0ha等も併せ、土地区画整理事業によるまちづくりを進めており、平成28年10月に、土地区画整理事業後の土地利用の方針や配置を示した修正土地利用計画（案）を策定している。

<支障となっている課題など>
国庫補助金充当率の低下、社会情勢の変化等。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>現在暫定利用中の多目的スポーツ広場の継続希望がある。

11.サウンディング調査

平成28年度に、深沢地域整備事業についての調査を実施。

- ・修正土地利用計画（素案）の位置や規模についての妥当性を確認した。
- ・行政施設街区を含め、各街区が連携できる可能性があることを確認した。

12.利活用の方向性

備考

- ・深沢地域整備事業は、現況の土地利用を、土地区画整理事業手法により、土地の整序化・整形化を行い、併せて、道路・公園等を整備する事業で、事業区域内には、鎌倉市、JR東日本の他、一般の地権者が75名いる。
- ・管理・運営、大規模工事履歴の情報は、現在の約8.1haの土地を対象にしたもの。

周辺の主な公共施設

- ・深沢行政センター
- ・深沢中学校、深沢小学校、富士塚小学校
- ・深沢リサイクルセンター
- ・深沢子ども会館、富士塚子ども会館
- ・ふかさわ子どもの家、ふじづか子どもの家
- ・深沢市営住宅

【注記】

- ・容積率等の記載内容：（容積率）/（建ぺい率）
- ・想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

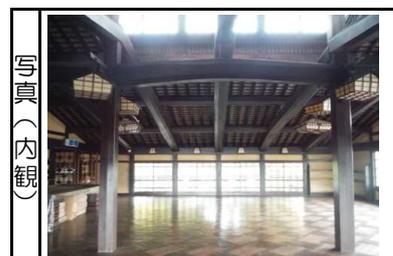
施設カルテ

(案)

整理番号： 4 - 表

平成29（2017）年度版

1.基本情報			
施設名称	扇湖山荘		
所在地	鎌倉山1-21-1	設置日	平成22年10月25日
行政地域	鎌倉地域	所管部署	総務部管財課
施設分類（再編計画）	対象外施設（⑧その他）	設置条例	-
財産区分	普通財産	根拠法	-
具体用途	庭園公開	管理形態	直営
設置目的など			



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	83,000円/㎡
実測：	約46,800㎡	取得価額等	-
建築確認：	-	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	328百万円/年（注）
用途地域等	市街化調整区域		
容積率等	80/40		
その他の地域地区	第2種風致地区/宅地造成工事規制区域/埋蔵文化財包蔵地/土砂災害警戒区域/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	接道との高低差なし		
土地の状況	（安全性、管理の状況など） ほぼ平坦な土地（一部傾斜地あり）。 公簿上の敷地面積は23,408.41㎡。		
アクセス	鎌倉駅から約2.3km（直線距離）/鎌倉駅から若松バス停又は旭ヶ丘バス停から徒歩8分程度		

3.建物情報				
棟数（主要棟名）	5棟（本館）	全棟延床面積（M）	1,741.88㎡	建物の状況 （老朽化、活用の可能性など） 本館は、昭和9年に飛騨高山の民家を移築・改築したもので、改築は、建築家・大江新太郎らによる。
主要棟構造	木・鉄筋コンクリート造 銅板かわらぶき3階建	主要棟延床面積	1,530.31㎡	
主要棟階数	地下1階地上2階建て	主要棟建築年度	()年	
主要棟耐震性能	耐震改修未済（耐震診断未済）	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロースロープ：無し 多目的トイレ：無し	建物内スロープ：無し エレベータ：無し		

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内： - 屋外： -
災害対応施設の指定等	-	-
周辺の災害対応施設の指定等の状況	-	-

5.利用状況		
年間利用数（N）	平成28年度	平成27年度
	1,360件	2,090件
利用状況	年4日庭園公開を実施した結果の来場者数	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	-	-
	-	-
その他（募金）	0.2百万円	0.4百万円
合計（T）	0.2百万円	0.4百万円
利用あたりの収入（T/N）	147円/利用	191円/利用

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
建物管理委託費等	0.6百万円	0.6百万円
光熱水費	0.5百万円	0.3百万円
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他（庭園整備等）	2.9百万円	0.3百万円
減価償却相当額	確認中	
合計（P）	4百万円	1.2百万円
利用あたりの支出（P/N）	2,941円/利用	574円/利用
1㎡あたりの施設コスト（C/M）	2,296円/㎡	689円/㎡

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要
25	(仮称) 扇湖山荘防災工事	20,628千円	高強度ネット設置工
28	(仮称) 扇湖山荘防災工事	17,188千円	高強度ネット設置工

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>

平成22年に、景観部内に準備会を設置し、検討課題を整理した。その後、平成23年6月に(仮称)扇湖山荘整備活用検討会を設置し、活用方針等について検討を行った。

<支障となっている課題など>

至る道路の幅員が4mに満たない部分があるため、一体的な土地活用が困難である。また、宅地要件を有する敷地の接道長さにより、建物の主たる用途が限定される。

10.市民ニーズ・行政課題

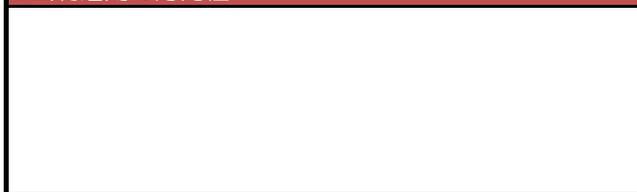
<行政地域面>

<個別施設面>

11.サウンディング調査

研修所、ホテル、体験型観光施設、文化拠点等の提案があった。法令の制限等を勘案した結果、都市公園の便益施設としての活用或いは研修施設としての活用が考えられる。

12.利活用の方向性



周辺の主な公共施設



備考

・管理等にかかる経費として、6及び8に挙げている以外に、毎年2回(春・秋)の一般公開のために、庭園管理(樹木の剪定・刈り込み、草刈等)について、年間延べ219人(平成28年度実績、公園課、新規採用職員研修、作業センター等のほか、鎌倉造園界の協力を含む)が実作業に携わっており、多くの人件費が掛かっている。
・年に4日実施している公開に際しては、公園課、管財課、都市景観課の職員で対応しており、年間延べ60人を投入している。

【注記】

- ・容積率等の記載内容：(容積率)/(建ぺい率)
- ・想定借地料単価：7,000円/㎡・年
(鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価)
- ・地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カドテ (案) 整理番号： 5 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	資生堂鎌倉工場跡地		
所在地	岩瀬1-1-1外	設置日	-
行政地域	大船地域	所管部署	-
施設分類(再編計画)	(区分外(土地のみ))	設置条例	-
財産区分	寄贈予定	根拠法	-
具体用途	-	管理形態	民有地
設置目的など	-		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	163,000円/㎡
実測:	約5,200㎡	取得価額等	-
建築確認:	-	評価額等	-
所有形態	民有地	想定定期借地料	36百万円/年(注)
用途地域等	準工業地域		
容積率等	200/60		
その他の地域地区	建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	接道との高低差なし		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 平坦地		
アクセス	JR大船駅空間口から徒歩10分ほど		

3.建物情報			
棟数(主要棟名)	-	全棟延床面積(M)	-
主要棟構造	-	主要棟延床面積	-
主要棟階数	-	主要棟建築年度	()年
主要棟耐震性能	-	取得価額等	-
バリアフリー	出入ロースロープ: 多目的トイレ:	建物内スロープ: エレベータ:	建物の状況 (老朽化、活用の可能性など)

4.防災情報			
災害危険区域等	-	受入避難者数	
浸水情報	-	屋内:	-
災害対応施設の指定等	-	屋外:	-
周辺の災害対応施設の指定等の状況	大船小(避難所)/鎌倉女子大学大船キャンパス(広域避難場所)		

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	-	-
利用状況	-	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	-	-
その他	-	-
合計(T)	-	-
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
施設コスト(C)		
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	-	-
合計(P)	-	-
利用あたりの支出(P/N)	-	-
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	-	-

施設カドテ

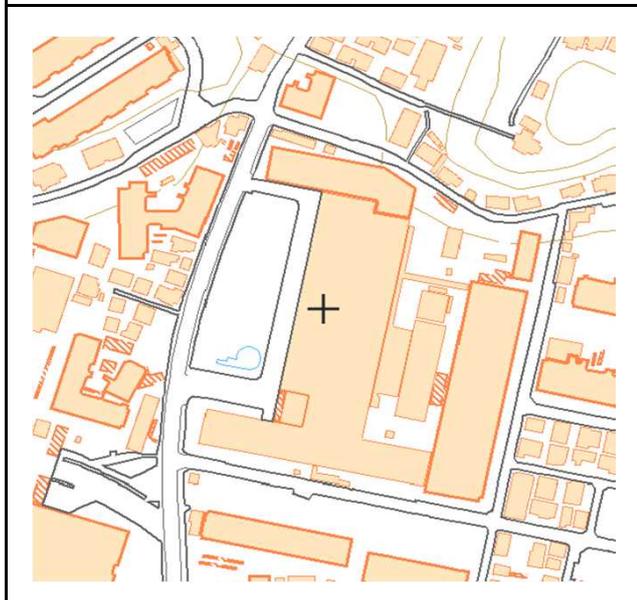
整理番号： 5 - 裏

平成29（2017）年度版

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>平成28年8月29日付け「資生堂鎌倉工場跡地開発計画における寄附用地に係る覚書」により、三菱地所レジデンス株式会社が行う開発計画の後、岩瀬一丁目1番1外の一部（約5,200㎡）について寄附受けることとなっている。

<支障となっている課題など>

寄附を受ける土地は、企業等を誘致するための用地としているが、活用方法は未定であり、今後検討する必要がある。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>

11.サウンディング調査

実施していない。

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・大船小学校
- ・鎌倉女子大学大船キャンパス

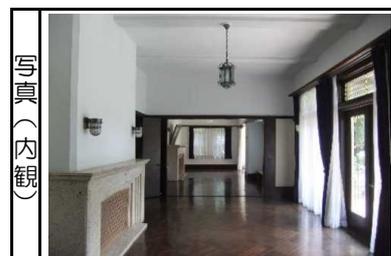
【注記】

- ・容積率等の記載内容：（容積率）/（建ぺい率）
- ・想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ (案) 整理番号： 6 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	カノウノミヤ 旧華頂宮邸		
所在地	浄明寺2-6-37	設置日	平成8年7月1日
行政地域	鎌倉地域	所管部署	都市景観課
施設分類(再編計画)	対象外施設(⑧その他)	設置条例	-
財産区分	行政財産	根拠法	-
具体用途	庭園公開	管理形態	直営
設置目的など	寄附による歴史的建築物の保存・活用(庭園部分は週5日公開中)		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	126,000円/㎡
実測:	4,462.77㎡	取得価額等	-
建築確認:	-	評価額等	-
所有形態	民有地(借地)	想定定期借地料	-
用途地域等	第一種低層住居専用地域		
容積率等	80/40		
その他の地域地区	歴史的風土保存区域/第2種風致地区/宅地造成工事規制区域/土砂災害警戒区域/埋蔵文化財包蔵地/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	接道との高低差なし		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 平坦地		
アクセス	鎌倉駅から約1.7km(直線距離)		

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	2棟(洋館)	全棟延床面積(M)	716.23㎡	建物の状況 平成18年の都市景観課へ所管替え以降、活用検討協議会等において活用方針を検討し、これを基に実験活用を継続中。本格活用に向けては地域の理解を得ながら用途許可を取得するとともに、耐震改修等を実施し、現行法規に適合させる必要がある。
主要棟構造	木造	主要棟延床面積	577.79㎡	
主要棟階数	地上3階建て	主要棟建築年度	昭和4(1929)年	
主要棟耐震性能	耐震改修未済(耐震診断未済)	取得価額等	490,012,146(土地借地権取得)	
バリアフリー	出入ロスロープ: 無し 多目的トイレ: 無し	建物内スロープ: 無し エレベータ: 無し		

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内: - 屋外: -
災害対応施設の指定等	-	
周辺の災害対応施設の指定等の状況	第二小学校(避難所)	

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	12,572件	11,053件
利用状況	週5日の庭園公開に加え、年4日建物公開を実施した結果の来場者数	

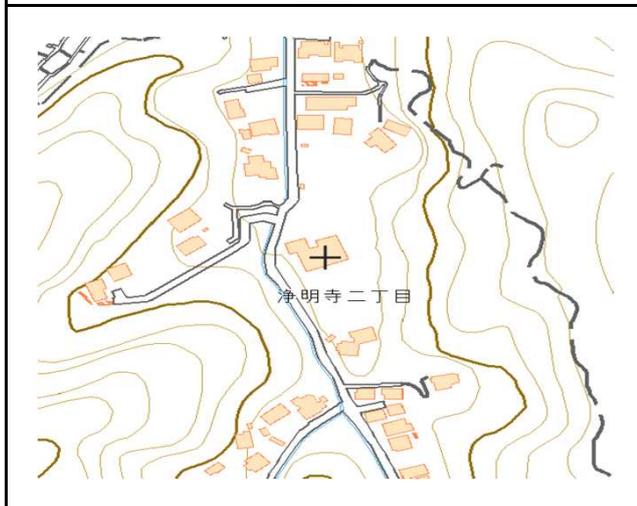
7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	2.5百万円	1.6百万円
	-	-
その他	0.5百万円	0.6百万円
合計(T)	3百万円	2.2百万円
利用あたりの収入(T/N)	239円/利用	199円/利用

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
建物管理委託費等	3.4百万円	3.5百万円
光熱水費	0.2百万円	0.2百万円
修繕費	1百万円	0.8百万円
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	8.9百万円	8.6百万円
その他	0.7百万円	1.1百万円
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	14.2百万円	14.2百万円
利用あたりの支出(P/N)	1,129円/利用	1,285円/利用
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	19,826円/㎡	19,826円/㎡

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要
平成13年	旧華頂宮邸各所修繕	10,200千円	各所修繕・フェンス設置

地図



航空写真



9.検討経過

＜検討経過など＞

寄附受納当初は文化推進部局が、平成18年からは景観部局が主管観課となり、庭園を一般公開するとともに、実験活用を実施してきた。平成22年3月から旧華頂宮邸活用検討協議会、平成25年から旧華頂宮邸暫定活用運営会議を設置し、市民を交えて、活用の手法を探った。平成28年3月に、暫定活用のルールや事例等を取りまとめた「旧華頂宮邸暫定活用運営会議活動報告書」を作成した。

＜支障となっている課題など＞

耐震診断及び補強設計を要する。

また、第一種低層住居専用地域であることから、活用に向けて法制上の整理を要する。

10.市民ニーズ・行政課題

＜行政地域面＞

＜個別施設面＞

旧華頂宮邸活用検討協議会において、文化の維持継承、周辺環境との調和、市民合意、建物保全等からなる活用の方向性を検討し、市長への提言を得ている。

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

景観重要建築物等指定第29号
国登録有形文化財に指定（平成18年10月）
宅間ボランティアの会（近隣住民ボランティア）が、庭園のバラ等の管理及び建物公開補助をボランティアで実施している。

周辺の主な公共施設

- ・ 第二小学校
- ・ 鎌倉青少年会館

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率）／（建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ (案) 整理番号: 7 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	旧前田邸		
所在地	長谷1-5-2	設置日	-
行政地域	鎌倉地域	所管部署	経営企画部文化人権推進課
施設分類(再編計画)	対象外施設(⑧その他)	設置条例	-
財産区分	普通財産	根拠法	-
具体用途	-	管理形態	直営
設置目的など	平成22年2月26日寄附受納		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	151,000円/㎡
実測:	4,474.66㎡	取得価額等	-
建築確認:	2,192.66㎡	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	31百万円/年(注)
用途地域等	市街化調整区域		
容積率等	80/40		
その他の地域地区	第2種風致地区/埋蔵文化財包蔵地/歴史的風土保存区域/宅地造成工事規制区域/土砂災害警戒区域/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	敷地入口から緩い斜面地を上り、建物玄関、庭敷地へは3段の階段を上る。バリアフリー対応していない。		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) ほぼ平坦な整形地(敷地入口部分と建物・庭敷地との間に段差あり。)と建物裏手に斜面地あり。		
アクセス	江ノ電由比ヶ浜駅から徒歩5分		

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	3棟(母屋)	全棟延床面積(M)	324.72㎡	建物の状況
主要棟構造	鉄筋コンクリート造	主要棟延床面積	264.23㎡	(老朽化、活用の可能性など)
主要棟階数	地上2階建て	主要棟建築年度	昭和46(1971)年	建物は老朽化が進んでいる。活用するには、耐震改修、アスベスト処理、雨漏り修繕、内装補修などが必要である。
主要棟耐震性能	耐震改修未済(耐震診断未済)	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロースロープ: 無し 多目的トイレ: 無し	建物内スロープ: 無し エレベータ: 無し		

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内: - 屋外: -
災害対応施設の指定等	-	
周辺の災害対応施設の指定等の状況	御成中学校(避難所・広域避難所・津波避難ビル)/鎌倉文学館(津波避難ビル)	

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	-	-
利用状況	-	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料(撮影)	0百万円	0.3百万円
	-	-
その他	0百万円	0百万円
合計(T)	-	0.3百万円
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
施設コスト(C)		
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	0百万円	0.5百万円
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他(建物機械警備)	0.1百万円	0.1百万円
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	0.1百万円	0.6百万円
利用あたりの支出(P/N)	-	-
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	308円/㎡	1,848円/㎡

施設カルテ

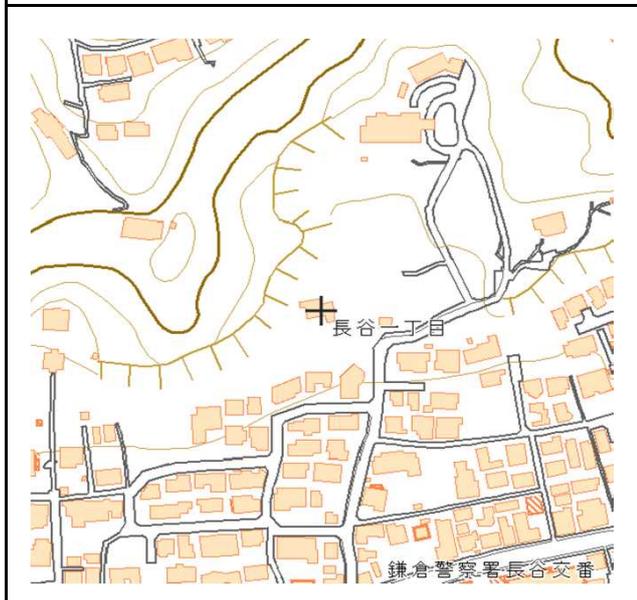
整理番号： 7 - 裏

平成29（2017）年度版

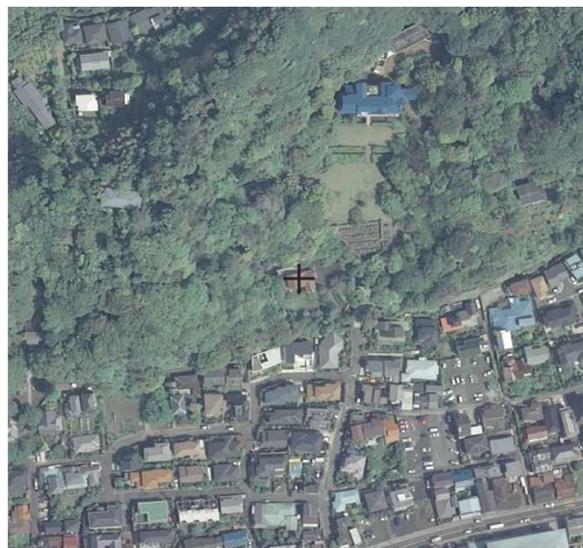
8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>

建物を公共施設として利用する場合には、耐震診断・耐震補強、アスベスト処理（暖炉内などの建材に含有の可能性あり）、バリアフリー対策、内装補修が必要になると思われる。

<支障となっている課題など>

文化関連施設として活用する場合、既存建物の改修、解体して新たな施設の建設の双方を見据えて、長期的なコスト比較を行うことが必要と思われる。市街化調整区域であるため、用途が限定される。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・鎌倉文学館
- ・長谷子ども会館
- ・吉屋信子記念館
- ・（仮称）由比ガ浜こどもセンター
- ・御成中学校

【注記】

- ・容積率等の記載内容：（容積率）/（建ぺい率）
- ・想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ (案) 整理番号: 8 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	旧和辻邸		
所在地	雪ノ下2-2-12	設置日	昭和36年
行政地域	鎌倉地域	所管部署	経営企画部文化人権推進課
施設分類(再編計画)	対象外施設(⑧その他)	設置条例	鎌倉市川喜多映画記念館条例
財産区分	行政財産	根拠法	-
具体用途	-	管理形態	指定管理
設置目的など	平成6年3月に川喜多かしこ氏ご遺族から寄附された。		



写真(外観)

2.土地情報			
敷地面積	7,748.15㎡	路線価	226,000円/㎡
実測:	-	取得価額等	-
建築確認:	-	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	54百万円/年(注)
用途地域等	第一種低層住宅専用地域 / 市街化調整区域(大部分)		
容積率等	80/40		
その他の地域地区	歴史的風土保存地区/第一種低層住宅専用地域/第2種風致地区/宅地造成工事規制区域/埋蔵文化財包蔵地/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	川喜多映画記念館遊歩道から庭園に入って石階段を上る。バリアフリーに対応していない。		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 背後が県指定保安林。危険木剪定を市予算で毎年度実施している。		
アクセス	鎌倉駅東口から徒歩8分ほど		



写真(内観)

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	1棟	全棟延床面積(M)	145.86㎡	建物の状況 (老朽化、活用の可能性など) 居宅のため、不特定多数が立ち入ることができない。
主要棟構造	木造瓦葺平屋	主要棟延床面積	145.86㎡	
主要棟階数	地上1階建て	主要棟建築年度	昭和36(1961)年	
主要棟耐震性能	耐震改修未済 -	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロスロープ: 無し 多目的トイレ: 無し	建物内スロープ: 無し エレベータ: 無し		

4.防災情報			
災害危険区域等	-	受入避難者数	
浸水情報	-	屋内:	-
災害対応施設の指定等	-	屋外:	-
周辺の災害対応施設の指定等の状況	鶴岡八幡宮(広域避難場所)/鎌倉彫会館・櫻井ビル・鎌倉春秋スクエア(津波避難ビル)		

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	3126人	2202人
利用状況	年2回春・秋(例年4月・10月)に各2日間ずつ一般公開(屋外からの施設観覧のみ)	

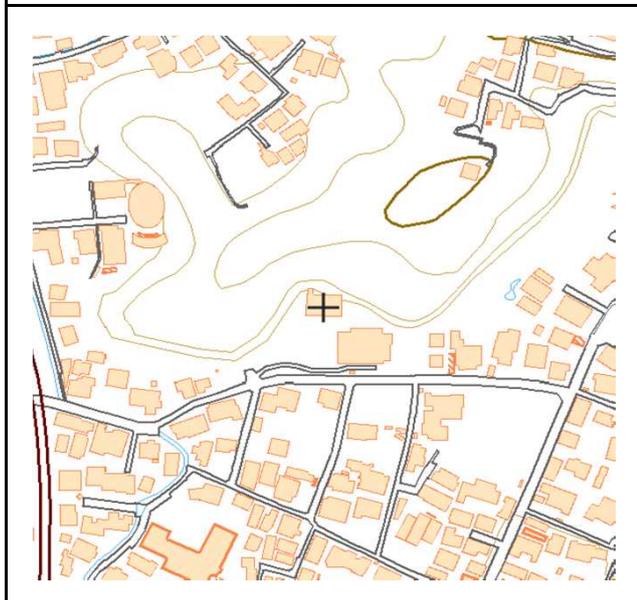
7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	-	-
その他	-	-
合計(T)	-	-
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	35百万円	35百万円
事業運営コスト	確認中	
施設コスト(C)		
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	0.3百万円	0百万円
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	35.3百万円	35百万円
利用あたりの支出(P/N)	11,292円/利用	15,895円/利用
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	2,057円/㎡	-

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

＜検討経過など＞

平成6年に寄贈を受け、平成7年6月、「鎌倉市旧川喜多邸活用プラン検討委員会」を発足し、基本的な活用の目的を「川喜多夫妻の功績に学び、映画を中心とした鎌倉の文化を創造・発信するとともに市民の文化活動等の場を提供すること」とした。平成9年8月、「（仮称）川喜多記念館建設推進委員会」を設置し、平成10年11月、「（仮称）川喜多記念館基本計画」を報告。平成13年8月、「（仮称）川喜多記念館建設専門委員会」（以下「建設専門委員会」という。）を設置し、具体的な施設の内容を検討した。その後、建設専門委員会の検討結果を基調に平成19年5月に「（仮称）川喜多記念館の整備方針」を決定した。

＜支障となっている課題など＞

現状が居宅であるため、集客施設として活用するためには建物の用途変更、建築基準法に適した建築物にする必要がある。水道が通っていないため、上下水道の接続など諸手続が必要である。景観重要建造物に指定されているため、外観を修繕する場合は市長の許可が必要である。

10.市民ニーズ・行政課題

＜行政地域面＞

住宅地のため、騒音等、近隣への配慮が求められる

＜個別施設面＞

集会場等として利用するためには、建物の用途変更、大規模な施設修繕等を行うとともに、市民の理解を得る必要がある。

11.サウンディング調査

未実施

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・ 鍋木清方記念美術館
- ・ 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
- ・ 鎌倉国宝館
- ・ 神奈川県立近代美術館鎌倉別館（県）

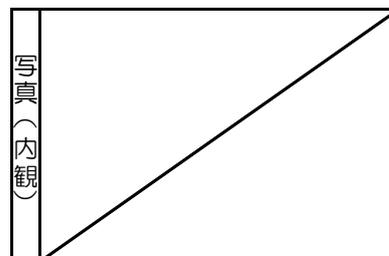
【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率） / （建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ (案) 整理番号: 9 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	旧今井邸跡地		
所在地	由比ガ浜三丁目9番17号	設置日	平成23年3月1日
行政地域	鎌倉地域	所管部署	管財課
施設分類(再編計画)	対象外施設(⑧その他)	設置条例	-
財産区分	行政財産	根拠法	-
具体用途	-	管理形態	直営
設置目的など	-		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	187,000円/㎡
実測:	1,550.51㎡	取得価額等	-
建築確認:	測量図(平成5年8月7日)	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	11百万円/年(注)
用途地域等	第一種中高層住居専用地域		
容積率等	150/60		
その他の地域地区	景観地区/埋蔵文化財包蔵地/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	接道との高低差なし		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 平坦な整形地		
アクセス	鎌倉駅から約1km(直線距離)、由比ヶ浜駅から約8m(直線距離)		

3.建物情報			
棟数(主要棟名)		全棟延床面積(M)	
主要棟構造		主要棟延床面積	
主要棟階数		主要棟建築年度	()年
主要棟耐震性能		取得価額等	
バリアフリー	出入ロスロープ: 多目的トイレ:	建物内スロープ: エレベータ:	建物の状況 (老朽化、活用の可能性など)

4.防災情報		
災害危険区域等	-	受入避難者数
浸水情報	津波想定浸水範囲(0.5m以上1.2m未満)	屋内:
災害対応施設の指定等	-	屋外:
周辺の災害対応施設の指定等の状況	ダイヤモンド鎌倉別邸ソサエティ・鎌倉文学館(津波避難ビル)	

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	-	-
利用状況	-	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	-	-
その他	-	-
合計(T)	-	-
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
施設コスト(C)		
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	-	-
合計(P)	-	-
利用あたりの支出(P/N)	-	-
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	-	-

施設カルテ

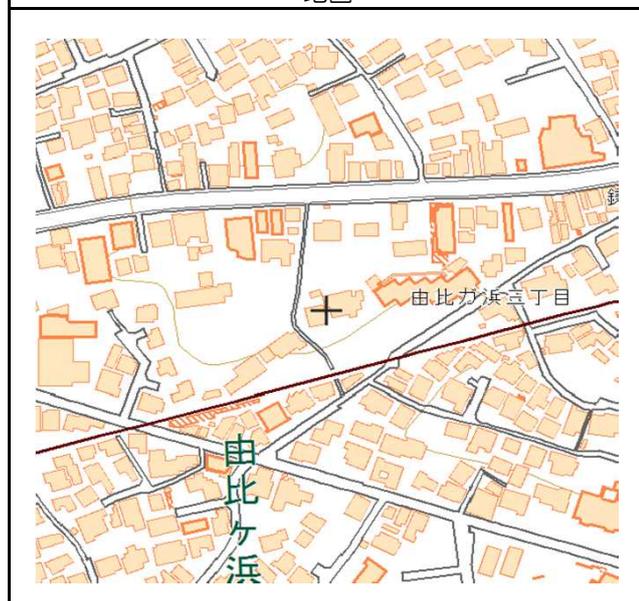
整理番号： 9 - 裏

平成29（2017）年度版

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>

生涯学習施設＋女性センター、保育所、子どもの家等としての活用の検討経過あり。

<支障となっている課題など>

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・（仮称）由比ガ浜こどもセンター
- ・吉屋信記念館
- ・長谷交番

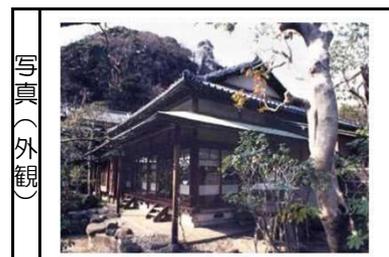
【注記】

- ・容積率等の記載内容：（容積率）／（建ぺい率）
- ・想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カドテ (案) 整理番号: 10 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	旧村上邸		
所在地	西御門2-8-22	設置日	平成28年6月7日
行政地域	鎌倉地域	所管部署	総務部管財課
施設分類(再編計画)	対象外施設(⑧その他)	設置条例	-
財産区分	普通財産	根拠法	-
具体用途	-	管理形態	直営
設置目的など	寄附		



2.土地情報			
敷地面積	1,677.50㎡	路線価	176,000円/㎡
公簿: 建築確認:	-	取得価額等	-
	-	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	12百万円/年(注)
用途地域等	第一種低層住居専用地域		
容積率等	80/40		
その他の地域地区	第2種風致地区/宅地造成工事規制区域/埋蔵文化財包蔵地/土砂災害警戒区域/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	接道との高低差なし		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 平坦な整形地、敷地と道路の間に開渠あり		
アクセス	鎌倉駅から約1.4km(直線距離)/鎌倉駅から天神前バス停から徒歩5分程度		

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	3棟(居宅)	全棟延床面積(M)	238.51㎡	建物の状況
主要棟構造	木造草葺平家建	主要棟延床面積	186.77㎡	(老朽化、活用の可能性など) 景観重要建築物等指定の際に実施した調査にて、主屋は昭和14年以前に建築されたことが確認できたが、正確な建築年は不明。
主要棟階数	地上2階建て	主要棟建築年度	明治 35 (1902) 年	
主要棟耐震性能	耐震改修未済 -	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロースロープ: 無し 多目的トイレ: 無し	建物内スロープ: 無し エレベータ: 無し		

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害計画区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内: - 屋外: -
災害対応施設の指定等	-	
周辺の災害対応施設の指定等の状況	清泉小学校・横浜国大付属鎌倉小・中学校(避難所)/鶴岡八幡宮(広域避難所)	

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	-	-
利用状況	-	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	-	-
その他	-	-
合計(T)	-	-
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	0百万円	-
修繕費	2.3百万円	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他(庭園整備等)	2.2百万円	-
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	4.5百万円	-
利用あたりの支出(P/N)	-	-
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	18,867円/㎡	-

施設カルテ

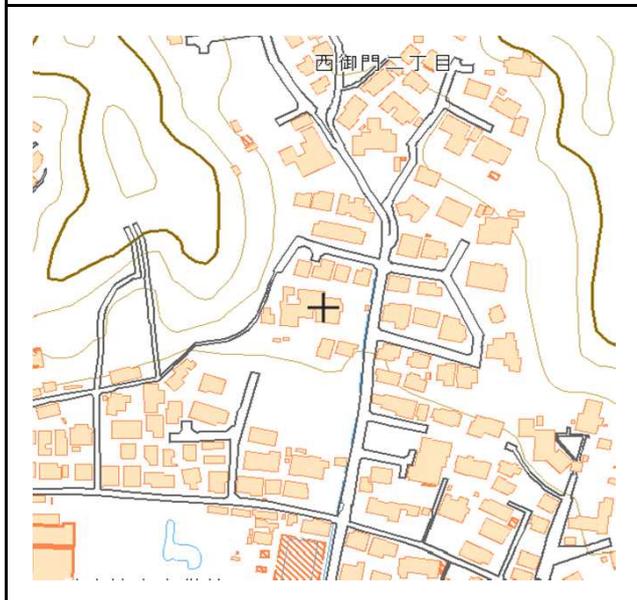
整理番号： 10 - 裏

平成29（2017）年度版

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>

<支障となっている課題など>

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・ 鎌倉国宝館
- ・ 第二小学校
- ・ 第二中学校

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率）／（建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ (案) 整理番号： 11 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	オウギガヤツ 扇力谷用地		
所在地	扇力谷1-3-8	設置日	平成25年3月
行政地域	鎌倉地域	所管部署	歴史まちづくり推進担当
施設分類(再編計画)	対象外施設(⑧その他)	設置条例	-
財産区分	行政財産	根拠法	-
具体用途	博物館(予定)	管理形態	直営
設置目的など	-		



2.土地情報			
敷地面積	路線価	228,000円/㎡	
実測	5,477.44㎡	取得価額等	-
建築確認	-	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	38百万円/年(注)
用途地域等	第一種低層住居専用地域		
容積率等	80/40		
その他の地域地区	第2種風致地区/歴史的風土保存地区/宅地造成工事規制地区/埋蔵文化財包蔵地/土砂災害警戒区域/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	道路との高低差なし		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 鎌倉駅西口方面から佐助方面に向かう坂道の途中に位置し、周辺は閑静な住宅街である。建物はほぼ平坦な整形地に所在する。		
アクセス	JR鎌倉駅西口から徒歩約10分		

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	1棟	全棟延床面積(M)	342.77㎡	建物の状況
主要棟構造	鉄筋コンクリート造	主要棟延床面積	342.77㎡	(老朽化、活用の可能性など)
主要棟階数	地上2階建て	主要棟建築年度	昭和63(1988)年	昭和63年7月に株式会社国際不動産の住居として竣工した。その後一般財団法人センチュリー文化財団が所有していたが、寄附により平成25年3月に鎌倉市が取得した。前所有者が平成17年ごろ建物の一部をリフォームしたが、扉(屋上)の破損、ガラスのひび割れ、シーリング材等に劣化などが見られる。
主要棟耐震性能	新耐震基準	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロースロープ: 無し 多目的トイレ: 無し	建物内スロープ: 無し エレベータ: 無し		

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内: - 屋外: -
災害対応施設の指定等	-	
周辺の災害対応施設の指定等の状況	鎌倉市役所(災害対策本部・災害応急対策活動拠点)/御成小学校(避難所)/源氏山公園(広域避難場所)	

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	-	-
利用状況	-	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	-	-
その他	-	-
合計(T)	-	-
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	-	-
利用あたりの支出(P/N)	-	-
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	-	-

施設カドテ

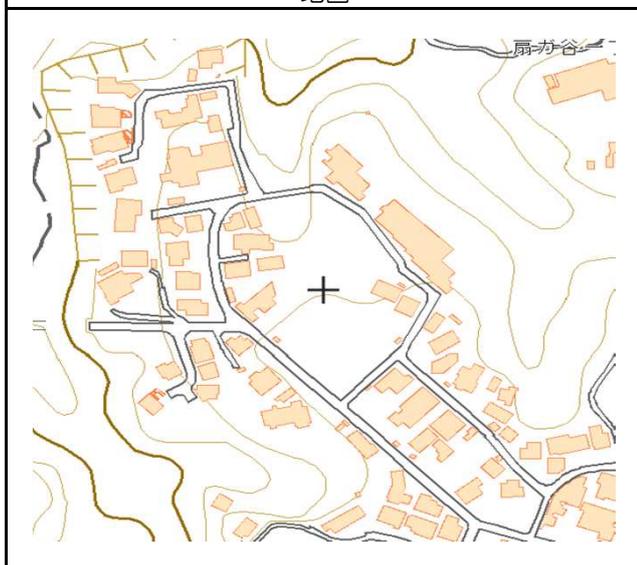
整理番号： 11 - 裏

平成29（2017）年度版

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>

「武家の古都・鎌倉」世界遺産ガイダンス施設及び将来的な博物館整備の候補地として、平成25年3月に鎌倉市が3棟と、建物と敷地を「扇ガ谷一丁目用地」（別添案内図参照）として取得した。ガイダンス施設予定地については、UNESCOの諮問機関であるICOMOSの不記載勧告を受け、政府が推薦を取り下げたため、（仮称）鎌倉歴史文化交流センターに計画を変更し（平成26年3月に基本計画策定）、平成29年3月に改修工事等が完了し、同年5月に鎌倉歴史文化交流館として開館した。

（仮称）鎌倉博物館予定地については、平成29年3月に佐助隧道につながる道路から鎌倉歴史文化交流館までの導入路を整備した。将来的な博物館整備を検討しているが、基本構想等は未着手である。

<支障となっている課題など>

当該施設は第一種低層住居専用地域に所在するため、建物の用途の目的によっては用途（変更）許可の手続きが必要となる。（隣接する鎌倉歴史文化交流館は個人住居を博物館等施設に転用する計画であったことから、周辺住民の理解を得るため、「日曜・祝日閉館、開館時間10：00～16：00」として用途許可を得た）

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

（仮称）鎌倉博物館の整備、一時避難場所としての利用及び備蓄食料等の保管の要望、修学旅行等で来訪した児童の昼食場所としての開放

<個別施設面>

美術館、NPOセンターとしての活用など。

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・鎌倉市役所
- ・御成小学校、御成中学校
- ・旧図書館 ・中央図書館
- ・鎌倉市福祉センター
- ・御成町在宅福祉サービスセンター
- ・鎌倉御成交番、鎌倉水道営業所（県施設）
- ・鎌倉税務署（国施設）

【注記】

- ・容積率等の記載内容：（容積率）／（建ぺい率）
- ・想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ (案) 整理番号： 12 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	深沢クリーンセンター		
所在地	笛田3-24-1	設置日	昭和36年
行政地域	深沢地域	所管部署	環境部環境センター
施設分類(再編計画)	対象外施設(⑤供給処理施設)	設置条例	鎌倉市クリーンセンター設置規程
財産区分	行政財産	根拠法	-
具体用途	し尿放流施設	管理形態	直営
設置目的など	し尿及び浄化槽汚泥等の受入		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	102,000円/㎡
実測:	15,719.49㎡	取得価額等	-
建築確認:	7,506.58㎡	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	110百万円/年(注)
用途地域等	第一種中高層住居専用地域		
容積率等	150/60		
その他の地域地区	高度地区/宅地造成工事規制区域/土砂災害警戒区域/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	北側接道(市道)とは高低差なし		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 敷地のうち、平地面積は約10,000㎡ 全体が北側接道(市道)へ傾斜地		
アクセス	湘南モノレール湘南深沢駅から徒歩10分ほど		

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	15棟(事務所棟)	全棟延床面積(M)	2,081.62㎡	建物の状況 (老朽化、活用の可能性など) 建物・設備は老朽化が進んでおり、 改修が必要。
主要棟構造	RC造	主要棟延床面積	318.14㎡	
主要棟階数	地上2階建て	主要棟建築年度	昭和49(1974)年	
主要棟耐震性能	耐震診断未済 -	取得価額等	-	
バリアフリー	出入りスロープ: 無し 多目的トイレ: 無し	建物内スロープ: 無し エレベータ: 無し	-	

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内: - 屋外: -
災害対応施設の指定等	-	-
周辺の災害対応施設の指定等の状況	深沢小・中学校(避難所) / 深沢中学校(広域避難場所)	

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	-	-
利用状況	-	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	-	-
その他	-	-
合計(T)	-	-
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	9百万円	8百万円
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	6百万円	7百万円
修繕費	9百万円	10百万円
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	24百万円	25百万円
利用あたりの支出(P/N)	-	-
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	7,206円/㎡	8,167円/㎡

施設カルテ

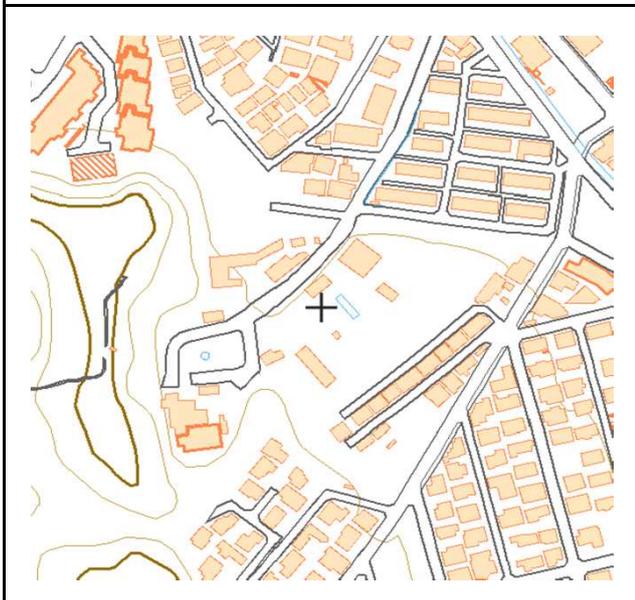
整理番号： 12 - 裏

平成29（2017）年度版

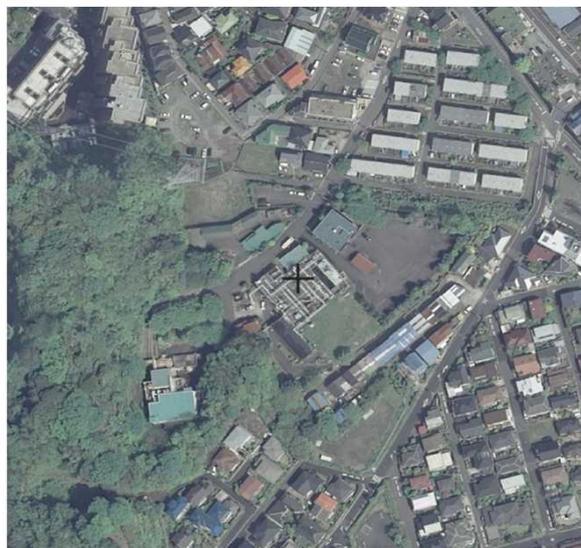
8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>公共施設再編計画の先行事業として位置づけられている市営住宅の集約化事業の中で、当該地は1次集約先の候補地となっている。

<支障となっている課題など>現在使用している、し尿及び浄化槽汚泥等の受入施設については早期の移転が難しいため、連動している建築物である受入・前処理棟、汚泥処理棟を残したまま集約化事業を行わなければならない、必要とされている市営住宅の戸数を確保できない可能性がある。施設の用途から土壌汚染の可能性があるので、調査の結果土壌汚染が確認された場合、その対策が必要となる。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>公共下水道が普及しても、当該施設の機能は必要であり、当該地を有効活用する場合は施設の集約化や移転が必要。

<個別施設面>施設は老朽化しており、既存施設の集約化や移転も視野に入れた検討を行う必要がある。

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・ 深沢小学校、深沢中学校
- ・ 深沢行政センター
- ・ 教養センター
- ・ 市営笛田住宅
- ・ 鎌倉警察署梶原口交番（県施設）

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率）／（建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ

(案)

整理番号： 13-1 - 表

平成29（2017）年度版

1.基本情報			
施設名称	市営住宅用地（市営植木住宅）		
所在地	植木231	設置日	昭和31年度
行政地域	玉縄地域	所管部署	都市整備部建築住宅課
施設分類（再編計画）	(11) 市営住宅	設置条例	鎌倉市営住宅条例
財産区分	行政財産	根拠法	公営住宅法
具体用途	住宅	管理形態	指定管理
設置目的など	住宅困窮者に対して住宅を供給すること		



2.土地情報			
公簿：	敷地面積	路線価	128,000円/㎡
	11,712.04㎡	取得価額等	-
建築確認：	916.22㎡	評価額等	-
	所有形態	公有地	想定定期借地料 82百万円/年（注）
用途地域等	第一種住居地域		
容積率等	200/60		
その他の地域地区	準防火地域/景観計画区域		
バリアフリー	-		
土地の状況	（安全性、管理の状況など） 平坦地・旗竿地		
アクセス	岡本バス停より徒歩2分程度		

3.建物情報				
棟数（主要棟名）	2棟（1号棟）	全棟延床面積（M）	481.36㎡	建物の状況 （老朽化、活用の可能性など） 総戸数12戸。老朽化が進んでいる。簡易耐火構造のため、活用は難しい。
主要棟構造	RC壁式	主要棟延床面積	240.68㎡	
主要棟階数	地上2階建て	主要棟建築年度	昭和31（1956）年	
主要棟耐震性能	耐震診断未済 -	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロスロープ：無し 多目的トイレ：不要	建物内スロープ：不要 エレベータ：無し		

4.防災情報			
災害危険区域等	-	受入避難者数	
浸水情報	-	屋内：	-
災害対応施設の指定等	-	屋外：	-
周辺の災害対応施設の指定等の状況	玉縄中学校・植木小学校（避難所）/県立フラワーセンター大船植物園（広域避難所）		

5.利用状況		
年間利用数（N）	平成28年度	平成27年度
	13人	11人
利用状況	居住者のみ利用	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	0.7百万円	0.7百万円
	-	-
その他	-	-
合計（T）	0.7百万円	0.7百万円
利用あたりの収入（T/N）	53,846円/利用	63,636円/利用

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	0.7百万円	0.7百万円
事業運営コスト	2百万円	2百万円
施設コスト（C）	建物管理委託費等	-
	光熱水費	-
	修繕費	-
	大規模修繕等工事費	-
	土地・建物等賃借費	-
	その他	-
減価償却相当額	確認中	
合計（P）	2.7百万円	2.7百万円
利用あたりの支出（P/N）	207,692円/利用	245,455円/利用
1㎡あたりの施設コスト（C/M）	-	-

施設カルテ

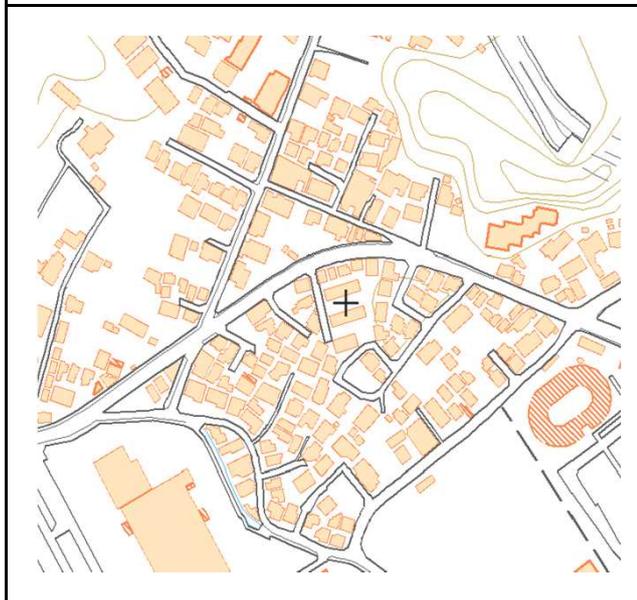
整理番号： 13-1 - 裏

平成29（2017）年度版

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>公共施設再編計画（平成27年3月策定）に基づき、老朽化が進む6団地について、1～2箇所程度集約して整備することとしている。

<支障となっている課題など>集約化する候補地、施設計画や事業手法の検討が必要である。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>市有の市営住宅のなかでも、特に老朽化が進んでいることから、居住者の早期の移転を促す必要がある。施設の廃止等には居住者の住居の確保と引越しが必要。

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・ 玉縄こどもセンター
- ・ 玉縄中学校
- ・ 植木小学校
- ・ 県立フラワーセンター大船植物園

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率）／（建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カドテ

(案)

整理番号： 13-2 - 表

平成29（2017）年度版

1.基本情報			
施設名称	市営住宅用地（市営 ^{フカザワ} 深沢住宅）		
所在地	寺分448	設置日	昭和35年度
行政地域	深沢地域	所管部署	都市整備部建築住宅課
施設分類（再編計画）	(11)市営住宅	設置条例	鎌倉市営住宅条例
財産区分	行政財産	根拠法	公営住宅法
具体用途	住宅	管理形態	指定管理
設置目的など	住宅困窮者に対して住宅を供給すること		



写真（外観）



写真（内観）

2.土地情報			
敷地面積	12,245.10㎡	路線価	127,000円/㎡
公簿：	12,245.10㎡	取得価額等	-
建築確認：	13,752.08㎡	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	86百万円/年（注）
用途地域等	第一種住居地域		
容積率等	200/60		
その他の地域地区	準防火地域/土砂災害警戒区域/宅地造成工事規制区域/埋葬文化財包蔵地（一部）/景観計画区域		
バリアフリー	-		
土地の状況	（安全性、管理の状況など）道路との高低差有（最大約13M）。第4、5住宅はひな壇造成。第6住宅は道路をはさんだ南側に立地。		
アクセス	湘南深沢駅より徒歩5分程度		

3.建物情報				
棟数（主要棟名）	19棟（深沢第1住宅）	全棟延床面積（M）	7,169.17㎡	建物の状況
主要棟構造	RC壁式	主要棟延床面積	1627.51	（老朽化、活用の可能性など） 総戸数142戸。老朽化が進んでいる。特に、第3～6住宅は簡易耐火構造のため、活用は難しい。
主要棟階数	地上5階建て	主要棟建築年度	昭和54（1979）年	
主要棟耐震性能	耐震診断未済 -	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロスロープ：無し 多目的トイレ：不要	建物内スロープ：無し エレベータ：無し		

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内：-
災害対応施設の指定等	-	屋外：-
周辺の災害対応施設の指定等の状況	富士塚小学校（避難所・広域避難所）/深沢多目的スポーツ広場（広域避難所）	

5.利用状況		
年間利用数（N）	平成28年度	平成27年度
	198人	211人
利用状況	居住者のみ利用	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	25.3百万円	25.3百万円
	-	-
その他	0.2百万円	0.2百万円
合計（T）	25.5百万円	25.5百万円
利用あたりの収入（T/N）	128,788円/利用	120,853円/利用

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	8.7百万円	8.4百万円
事業運営コスト	24百万円	28.2百万円
施設コスト（C）	-	-
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	確認中	
合計（P）	32.7百万円	36.6百万円
利用あたりの支出（P/N）	165,152円/利用	173,460円/利用
1㎡あたりの施設コスト（C/M）	-	-

施設カルテ

整理番号： 13-2 - 裏

平成29（2017）年度版

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>公共施設再編計画（平成27年3月策定）に基づき、老朽化が進む6団地について、1～2箇所程度集約して整備することとしている。

<支障となっている課題など>集約化する候補地、施設計画や事業手法の検討が必要である。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>敷地の一部が深沢地域整備事業の用地となっている。

<個別施設面>集約化の第二次集約の候補地の一つとして検討中。建替え等には居住者の住居の確保と引越しが必要。

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・ 深沢行政センター
- ・ 富士塚小学校
- ・ 深沢小学校
- ・ 深沢中学校

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率）／（建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カテゴリー (案) 整理番号: 13-3 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	市営住宅用地(市営笛田住宅)		
所在地	鎌倉市笛田3-23	設置日	昭和35年度
行政地域	深沢地域	所管部署	都市整備部建築住宅課
施設分類(再編計画)	(11)市営住宅	設置条例	鎌倉市営住宅条例
財産区分	行政財産	根拠法	公営住宅法
具体用途	住宅	管理形態	指定管理
設置目的など	住宅困窮者に対して住宅を供給すること		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	103,000円/㎡
公簿:	5,882.71㎡	取得価額等	-
建築確認:	6,841.32㎡	評価額等	-
所有形態	公有地	想定期借地料	41百万円/年(注)
用途地域等	第一種中高層住居専用地域		
容積率等	150/60		
その他の地域地区	高度地区/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	-		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 平坦地		
アクセス	湘南深沢駅より徒歩15分程度		

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	13棟(笛田第1住宅)	全棟延床面積(M)	2,929.88㎡	建物の状況
主要棟構造	RC壁式	主要棟延床面積	235.07㎡	(老朽化、活用の可能性など) 総戸数70戸。老朽化が進んでいる。簡易耐火構造のため、活用は難しい。
主要棟階数	地上2階建て	主要棟建築年度	昭和39(1964)年	
主要棟耐震性能	耐震診断未済 -	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロスロープ: 無し 多目的トイレ: 不要	建物内スロープ: 不要 エレベータ: 無し		

4.防災情報		
災害危険区域等	-	受入避難者数
浸水情報	内水はん濫浸水想定区域	屋内: -
災害対応施設の指定等	-	屋外: -
周辺の災害対応施設の指定等の状況	深沢小学校(避難所)/深沢中学校(避難所・広域避難所)/笛田公園(広域避難所)	

5.利用状況		
	平成28年度	平成27年度
年間利用数(N)	85人	90人
利用状況	居住者のみ利用	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	9.1百万円	9.2百万円
その他	-	-
合計(T)	9.1百万円	9.2百万円
利用あたりの収入(T/N)	107,059円/利用	102,222円/利用

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	4.3百万円	4.1百万円
事業運営コスト	11.8百万円	13.9百万円
施設コスト(C)		
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	16.1百万円	18百万円
利用あたりの支出(P/N)	189,412円/利用	200,000円/利用
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	-	-

施設カドテ

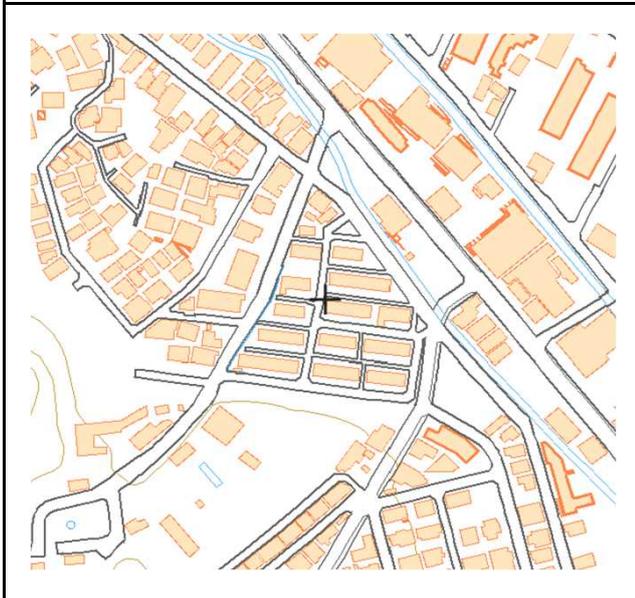
整理番号： 13-3 - 裏

平成29（2017）年度版

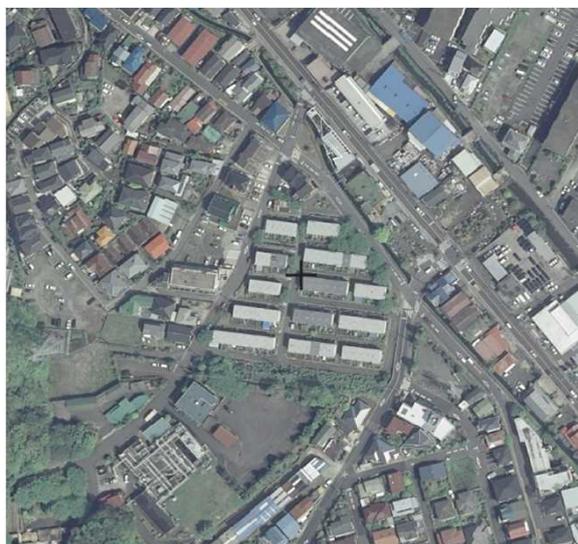
8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>公共施設再編計画（平成27年3月策定）に基づき、老朽化が進む6団地について、1～2箇所程度集約して整備することとしている。

<支障となっている課題など>集約化する候補地、施設計画や事業手法の検討が必要である。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>集約化の第一次集約の候補地として検討を進める。建替え等には居住者の住居の確保と引越が必要。

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・ 深沢行政センター
- ・ 深沢小学校
- ・ 深沢中学校
- ・ 笛田公園

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率）/（建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カドテ (案) 整理番号: 13-4 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	市営住宅用地(市営梶原住宅)		
所在地	鎌倉市梶原4-2-2~4	設置日	昭和42年度
行政地域	深沢地域	所管部署	都市整備部建築住宅課
施設分類(再編計画)	(11)市営住宅	設置条例	鎌倉市営住宅条例
財産区分	行政財産	根拠法	公営住宅法
具体用途	住宅	管理形態	指定管理
設置目的など	住宅困窮者に対して住宅を供給すること		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	103,000円/㎡
公簿:	4,405.36㎡	取得価額等	-
建築確認:	5,260.83㎡	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	31百万円/年(注)
用途地域等	第一種中高層住居専用地域		
容積率等	200/60		
その他の地域地区	高度地区/埋蔵文化財包蔵地/準防火地域/景観計画区域		
バリアフリー	-		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 2段造成。高低差有(約1.5m)。		
アクセス	西梶原バス停より徒歩3分程度		

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	3棟(梶原第1住宅)	全棟延床面積(M)	2,359.48㎡	建物の状況
主要棟構造	RC壁式	主要棟延床面積	498.47㎡	(老朽化、活用の可能性など) 総戸数56戸。老朽化が進んでいる。特に第2住宅が簡易耐火構造のため、活用は難しい。第1、3住宅は耐震診断済(改修不要)
主要棟階数	地上4階建て	主要棟建築年度	昭和42(1967)年	
主要棟耐震性能	耐震改修不要 Is値:0.7	取得価額等	-	
バリアフリー	出入スロープ: 無し 多目的トイレ: 不要	建物内スロープ: 無し エレベータ: 無し		

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内: - 屋外: -
災害対応施設の指定等	-	-
周辺の災害対応施設の指定等の状況	深沢小学校(避難所)/深沢中学校(避難所・広域避難所)/笛田公園(広域避難所)	

5.利用状況		
	平成28年度	平成27年度
年間利用数(N)	63人	67人
利用状況	居住者のみ利用	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	6.2百万円	6.2百万円
その他	-	-
合計(T)	6.2百万円	6.2百万円
利用あたりの収入(T/N)	98,413円/利用	92,537円/利用

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	3.4百万円	3.3百万円
事業運営コスト	9.5百万円	11.1百万円
施設コスト(C)	-	-
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	12.9百万円	14.4百万円
利用あたりの支出(P/N)	204,762円/利用	214,925円/利用
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	-	-

施設カドテ

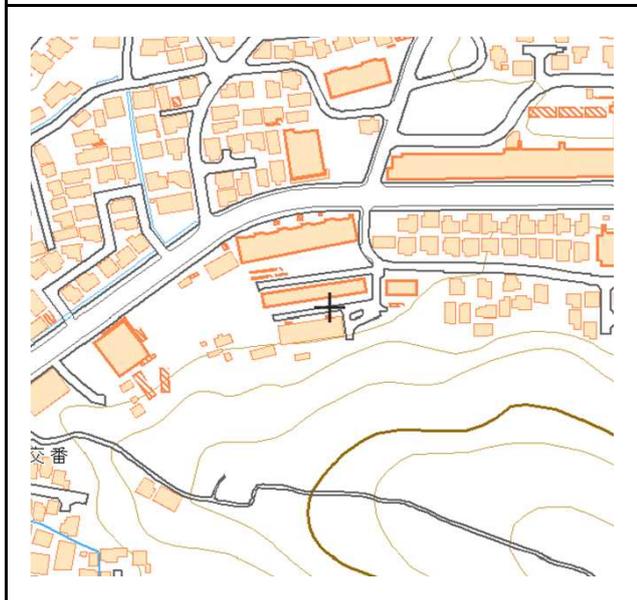
整理番号： 13-4 - 裏

平成29（2017）年度版

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>公共施設再編計画（平成27年3月策定）に基づき、老朽化が進む6団地について、1～2箇所程度集約して整備することとしている。

<支障となっている課題など>集約化する候補地、施設計画や事業手法の検討が必要である。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>集約化の第二次集約の候補地の一つとして検討中。建替え等には居住者の住居の確保と引越しが必要。

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・ 深沢こどもセンター
- ・ 梶原こども会館
- ・ 深沢中学校
- ・ 笛田公園

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率）/（建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カドテ

(案)

整理番号： 13-5 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	市営住宅用地(市営梶原東住宅)		
所在地	梶原4-2-8・9、4-5-1~4	設置日	昭和44年度
行政地域	深沢地域	所管部署	都市整備部建築住宅課
施設分類(再編計画)	(11)市営住宅	設置条例	鎌倉市営住宅条例
財産区分	行政財産	根拠法	公営住宅法
具体用途	住宅	管理形態	指定管理
設置目的など	住宅困窮者に対して住宅を供給すること		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	108,000円/㎡
公簿:	5,218.50㎡	取得価額等	-
建築確認:	5,260.83㎡	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	37百万円/年(注)
用途地域等	第一種中高層住居専用地域		
容積率等	200/60		
その他の地域地区	高度地区/準防火地域/景観計画区域		
バリアフリー	-		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) ひな壇造成。高低差有(約5.5m)。第1、2住宅の敷地と第3~6住宅の敷地が約70m離れている。		
アクセス	日当バス停より徒歩3分程度		

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	6棟(梶原東第1住宅)	全棟延床面積(M)	5,538.61㎡	建物の状況
主要棟構造	RC壁式	主要棟延床面積	772.56㎡	(老朽化、活用の可能性など) 総戸数116戸。老朽化が進んでいる。第1、2住宅は耐震診断済(改修不要)
主要棟階数	5階	主要棟建築年度	昭和44(1969)年	
主要棟耐震性能	耐震改修不要 ls値:1.0	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロスロープ:無し 多目的トイレ:不要	建物内スロープ:無し エレベータ:無し		

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内: - 屋外: -
災害対応施設の指定等	-	
周辺の災害対応施設の指定等の状況	深沢小学校(避難所)/深沢中学校(避難所・広域避難所)/笛田公園(広域避難所)	

5.利用状況		
	平成28年度	平成27年度
年間利用数(N)	201人	205人
利用状況	居住者のみ利用	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	19.3百万円	19.6百万円
	-	-
その他	0.4百万円	0.3百万円
合計(T)	19.7百万円	19.9百万円
利用あたりの収入(T/N)	98,010円/利用	97,073円/利用

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	7.1百万円	6.9百万円
事業運営コスト	19.6百万円	23百万円
施設コスト(C)		
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	26.7百万円	29.9百万円
利用あたりの支出(P/N)	132,836円/利用	145,854円/利用
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	-	-

施設カルテ

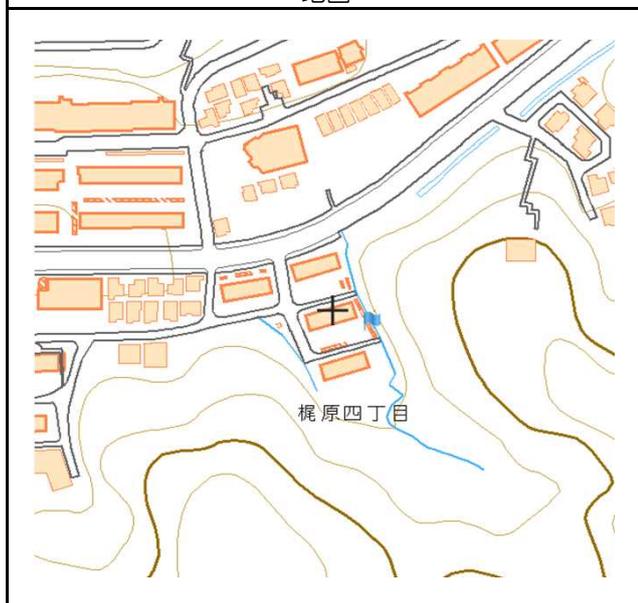
整理番号： 13-5 - 裏

平成29（2017）年度版

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>公共施設再編計画（平成27年3月策定）に基づき、老朽化が進む6団地について、1～2箇所程度集約して整備することとしている。

<支障となっている課題など>集約化する候補地、施設計画や事業手法の検討が必要である。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>集約化の第二次集約の候補地の一つとして検討中。建替え等には居住者の住居の確保と引越しが必要。

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・ 深沢こどもセンター
- ・ 梶原こども会館
- ・ 深沢中学校
- ・ 笛田公園

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率）/（建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カドテ

(案)

整理番号： 13-6 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	市営住宅用地(市営岡本住宅)		
所在地	岡本1324	設置日	昭和45年度
行政地域	玉縄地域	所管部署	都市整備部建築住宅課
施設分類(再編計画)	(11)市営住宅	設置条例	鎌倉市営住宅条例
財産区分	行政財産	根拠法	公営住宅法
具体用途	住宅	管理形態	指定管理
設置目的など	住宅困窮者に対して住宅を供給すること		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	117,000円/㎡
公簿：	5,181.30㎡	取得価額等	-
建築確認：	5,388.40㎡	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	36百万円/年(注)
用途地域等	工業地域		
容積率等	200/60		
その他の地域地区	建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	-		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 第1、第2と第3～5住宅の間に道路がある。平坦地。		
アクセス	南岡本バス停より徒歩3分		

3.建物情報				
棟数(主要棟名)	5棟(岡本東第1住宅)	全棟延床面積(M)	5,023.60㎡	建物の状況 (老朽化、活用の可能性など) 総戸数100戸。老朽化が進んでいる。
主要棟構造	RC壁式	主要棟延床面積	356.76㎡	
主要棟階数	4階	主要棟建築年度	昭和45(1970)年	
主要棟耐震性能	耐震診断未済 -	取得価額等	-	
バリアフリー	出入ロースロープ：無し 多目的トイレ：不要	建物内スロープ：無し エレベータ：無し		

4.防災情報		
災害危険区域等	-	受入避難者数
浸水情報	洪水・内水はん濫浸水想定区域(0.5m以上1.0m未満)	屋内：
災害対応施設の指定等	-	屋外：
周辺の災害対応施設の指定等の状況	玉縄中学校(避難所)/県立フラワーセンター大船植物園(広域避難所)	

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	173人	179人
利用状況	居住者のみ利用	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	13.5百万円	14.3百万円
	-	-
その他	0.5百万円	0.5百万円
合計(T)	14百万円	14.8百万円
利用あたりの収入(T/N)	80,925円/利用	82,682円/利用

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	6.2百万円	5.9百万円
事業運営コスト	16.9百万円	19.8百万円
施設コスト(C)		
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	確認中	
合計(P)	23.1百万円	25.7百万円
利用あたりの支出(P/N)	133,526円/利用	143,575円/利用
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	-	-

施設カドテ

整理番号： 13-6 - 裏

平成29（2017）年度版

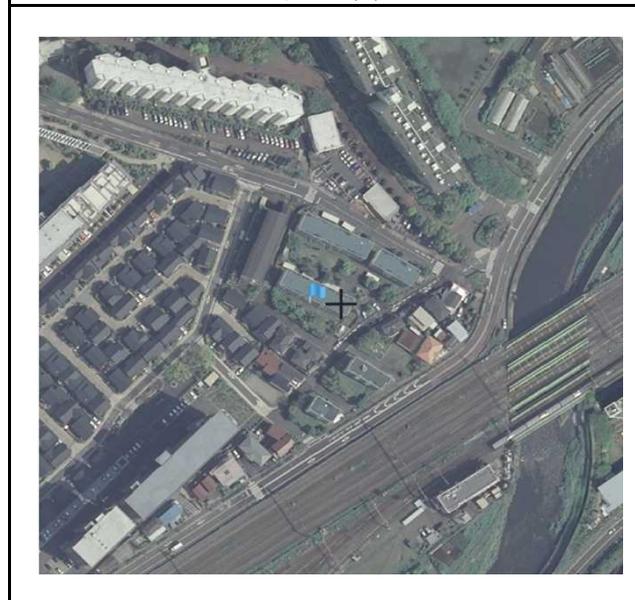
8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>公共施設再編計画（平成27年3月策定）に基づき、老朽化が進む6団地について、1～2箇所程度集約して整備することとしている。

<支障となっている課題など>集約化する候補地、施設計画や事業手法の検討が必要である。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>集約化の第二次集約の候補地の一つとして検討中。建替え等には居住者の住居の確保と引越が必要。

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- 玉縄中学校
- 県立フラワーセンター大船植物園

【注記】

- 容積率等の記載内容：（容積率）/（建ぺい率）
- 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ

(案)

整理番号： 14-1 - 表

平成29（2017）年度版

1.基本情報			
施設名称	材木座保育園敷地		
所在地	材木座3-5-8	設置日	昭和47年
行政地域	鎌倉地域	所管部署	こどもみらい部保育課
施設分類（再編計画）	(5) 子育て関連施設	設置条例	鎌倉市保育所設置条例
財産区分	行政財産	根拠法	児童福祉法
具体用途	保育所	管理形態	直営
設置目的など	保育所として		

写真（外観）



写真（内観）



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	156,000円/㎡
実測：	1,200.23㎡	取得価額等	—
建築確認：	1,200.23㎡	評価額等	—
所有形態	公有地	想定定期借地料	8百万円/年（注）
用途地域等	第一種住居地域		
容積率等	200/60		
その他の地域地区	準防火地域/景観地区/埋蔵文化財包蔵地/景観計画区域		
バリアフリー	東側の道路とはほぼ平坦で高低差なし		
土地の状況	（安全性、管理の状況など） 敷地の盤面はほぼ平坦な整形地		
アクセス	JR鎌倉駅から徒歩約14分ほど（約1,100m）		

3.建物情報				
棟数（主要棟名）	1棟	全棟延床面積（M）	494.65㎡	建物の状況 （老朽化、活用の可能性など） 防災上の観点から、子ども関連施設としての再利用は難しいと考えており、既存の園舎は解体し、土地を売却する計画にある。
主要棟構造	R C (気泡) 壁式	主要棟延床面積	494.65㎡	
主要棟階数	地上1階	主要棟建築年度	昭和 47 (1972) 年	
主要棟耐震性能	耐震改修済 Is値：0.6	取得価額等	—	
バリアフリー	出入ロスロープ：無し 多目的トイレ：無し	建物内スロープ：無し エレベータ：不要		

4.防災情報		
災害危険区域等	—	受入避難者数
浸水情報	津波想定浸水範囲（5m以上8m未満）	屋内：— 屋外：—
災害対応施設の指定等	—	
周辺の災害対応施設の指定等の状況	第一小学校（避難所）/鎌倉消防署（津波避難ビル）	

5.利用状況		
年間利用数（N）	平成28年度	平成27年度
利用状況		

7.管理・運営に係る収入		
使用料・手数料	平成28年度	平成27年度
その他		
合計（T）		
利用あたりの収入（T/N）		

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料		
事業運営コスト	確認中	
施設コスト（C）		
建物管理委託費等		
光熱水費		
修繕費		
大規模修繕等工事費		
土地・建物等賃借費		
その他		
減価償却相当額		
合計（P）		
利用あたりの支出（P/N）		
1㎡あたりの施設コスト（C/M）		

施設カルテ

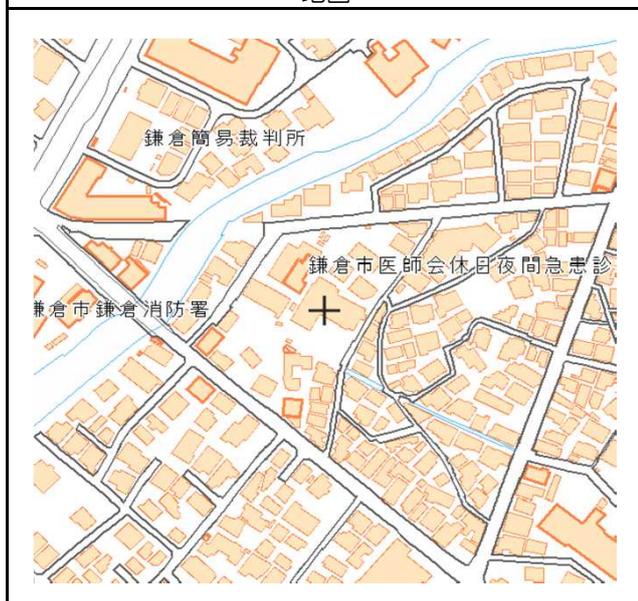
整理番号： 14-1 - 裏

平成29（2017）年度版

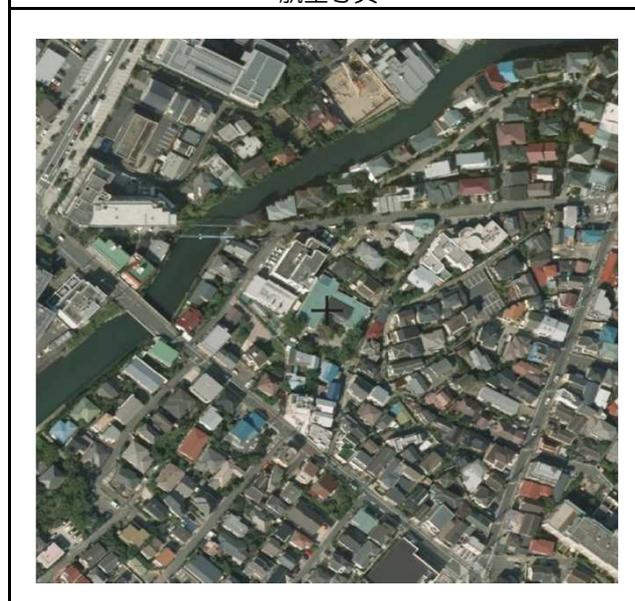
8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要
平成25年度	鎌倉市立材木座保育園耐震改修	26,670千円	鉄骨屋根部分の耐震改修修繕

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>

防災上の観点から、（仮称）由比ガ浜こどもセンターの建設、当センターへの移転を進めており、子ども関連施設としての再利用は難しいと考えており、既存の園舎は解体し、土地を売却する計画にある。

<支障となっている課題など>

敷地境界が不明確であり、敷地外と思われるが築造者不明の老朽化した危険ブロック塀がある。また、敷地東側の植栽帯の一部が、建築基準法第42条第2項道路区域（セットバック区域）に属する。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

（仮称）由比ガ浜こどもセンターへの移転後、既存の園舎は解体し、土地を売却する計画。

<個別施設面>

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

敷地境界が不明確であり、敷地外と思われるが築造者不明の危険ブロック塀がある。また、敷地東側の植栽帯の一部が、建築基準法第42条第2項道路区域（セットバック区域）に属する。

周辺の主な公共施設

- ・ 第一小学校
- ・ 鎌倉市体育館
- ・ 鎌倉海浜公園
- ・ 見田記念体育館
- ・ 鎌倉保健福祉事務所
- ・ 鎌倉女学院（高校・中学）
- ・ 鎌倉警察署
- ・ 鎌倉消防署

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率）／（建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ

(案)

整理番号： 14-2 - 表

平成29（2017）年度版

1.基本情報			
施設名称	稲瀬川保育園敷地		
所在地	長谷2-20-18	設置日	昭和50年
行政地域	鎌倉地域	所管部署	こどもみらい部保育課
施設分類（再編計画）	(5) 子育て関連施設	設置条例	鎌倉市保育所設置条例
財産区分	行政財産	根拠法	児童福祉法
具体用途	保育所	管理形態	直営
設置目的など	保育所として		

写真
(外観)写真
(内観)

2.土地情報			
	敷地面積	路線価	189,000円/㎡
実測：	1,496.52㎡	取得価額等	—
建築確認：	1,091.89㎡	評価額等	—
所有形態	公有地	想定定期借地料	10百万円/年（注）
用途地域等	第一種住居地域 / 近隣商業地域		
容積率等	200/60 / 200/80		
その他の地域地区	準防火地域/景観地区/埋蔵文化財包蔵地/景観計画区域		
バリアフリー	敷地西側および南側の石積擁壁（高さ2.0m程度）が設置されており、敷地と前面道路は高低差がある。		
土地の状況	（安全性、管理の状況など）敷地の盤面はほぼ平坦であるが、敷地と前面道路は高低差がある。隣接する御嶽大神を取り囲む形で、変形の「コ」の字型をした不整形地。		
アクセス	江ノ島電鉄長谷駅から徒歩約4分ほど（約300m）		

3.建物情報				
棟数（主要棟名）	1棟	全棟延床面積（M）	462.00㎡	建物の状況 （老朽化、活用の可能性など） 防災上の観点から、子ども関連施設としての再利用は難しいと考えており、既存の園舎は解体し、土地を売却する計画にある。
主要棟構造	サーモコン構造	主要棟延床面積	462.00㎡	
主要棟階数	1階	主要棟建築年度	昭和 50（ 1975 ）年	
主要棟耐震性能	耐震改修済 Is値：0.6	取得価額等	—	
バリアフリー	出入ロスロープ：不要 多目的トイレ：無し	建物内スロープ： エレベータ：不要		

4.防災情報		
災害危険区域等	—	受入避難者数
浸水情報	津波想定浸水範囲（5m以上8m未満）	屋内：— 屋外：—
災害対応施設の指定等	—	
周辺の災害対応施設の指定等の状況	稲村ヶ崎小学校（避難所）/齊藤ビル/御成中学校（避難所・広域避難所）	

5.利用状況		
	平成28年度	平成27年度
年間利用数（N）		
利用状況		

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料		
その他		
合計（T）		
利用あたりの収入（T/N）		

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料		
事業運営コスト	確認中	
施設コスト（C）		
建物管理委託費等		
光熱水費		
修繕費		
大規模修繕等工事費		
土地・建物等賃借費		
その他		
減価償却相当額		
合計（P）		
利用あたりの支出（P/N）		
1㎡あたりの施設コスト（C/M）		

施設カルテ

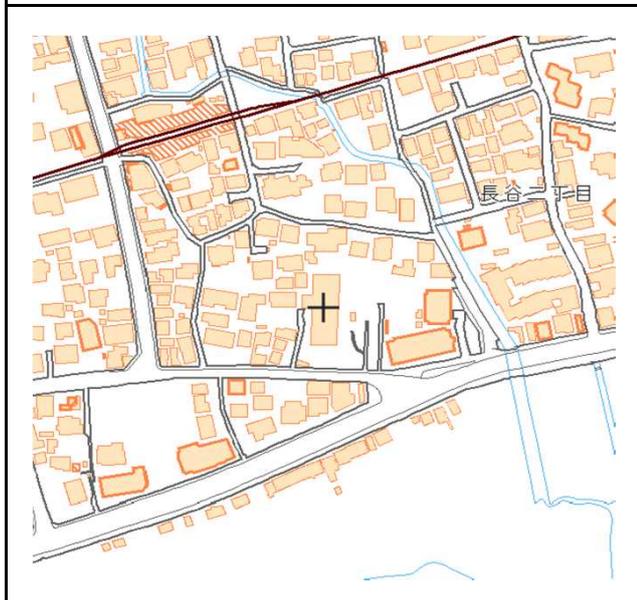
整理番号： 14-2 - 裏

平成29（2017）年度版

8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要
平成25年度	鎌倉市立稲瀬川保育園改修修繕	10,301千円	既存建物2階部分の解体撤去

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>

防災上の観点から、（仮称）由比ガ浜こどもセンターの建設、当センターへの移転を進めており、子ども関連施設としての再利用は難しいと考えており、既存の園舎は解体し、土地を売却する計画にある。

<支障となっている課題など>

敷地境界に不明確な部分がある、境界地権者との協議が必要である。また、敷地西側および南側の石積擁壁については劣化が認められる。

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

（仮称）由比ガ浜こどもセンターへの移転後、既存の園舎は解体し、土地を売却する計画

<個別施設面>

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

敷地西側および南側の石積擁壁については劣化が認められる。

周辺の主な公共施設

- ・鎌倉文学館
- ・吉屋信子記念館
- ・鎌倉海浜公園

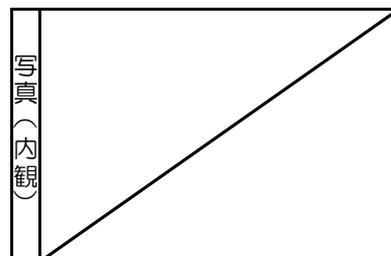
【注記】

- ・容積率等の記載内容：（容積率）/（建ぺい率）
- ・想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カドテ (案) 整理番号： 15 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	二階堂用地		
所在地	二階堂字獅子舞584-2 外	設置日	平成29年3月7日
行政地域	鎌倉地域	所管部署	総務部管財課
施設分類(再編計画)	対象外施設(⑧その他)	設置条例	-
財産区分	普通財産	根拠法	-
具体用途	-	管理形態	直営
設置目的など	土地開発公社の経営の健全化計画に基づき、公社から買換え		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	95,000円/㎡
実測	1,506.84㎡	取得価額等	-
建築確認	637.06㎡	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	11百万円/年(注)
用途地域等	第一種低層住居専用地域		
容積率等	80/40		
その他の地域地区	第2種風致地区/歴史的風土保存区域/宅地造成工事規制区域/土砂災害警戒区域/埋蔵文化財包蔵地/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	道路との高低差なし		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) ほぼ平坦な不整形地		
アクセス	鎌倉駅から約2.3km(直線距離)		

3.建物情報			
棟数(主要棟名)		全棟延床面積(M)	
主要棟構造		主要棟延床面積	
主要棟階数		主要棟建築年度	()年
主要棟耐震性能		取得価額等	
バリアフリー	出入ロースロープ: 多目的トイレ:	建物内スロープ: エレベータ:	建物の状況 (老朽化、活用の可能性など)

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内: - 屋外: -
災害対応施設の指定等	-	-
周辺の災害対応施設の指定等の状況	-	-

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
利用状況	二階堂親和会及び鎌倉市老人クラブ連合会に一部貸付中。	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	-	-
その他	-	-
合計(T)	-	-
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
施設コスト(C)		
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	-	-
減価償却相当額	-	-
合計(P)	-	-
利用あたりの支出(P/N)	-	-
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	-	-

施設カルテ

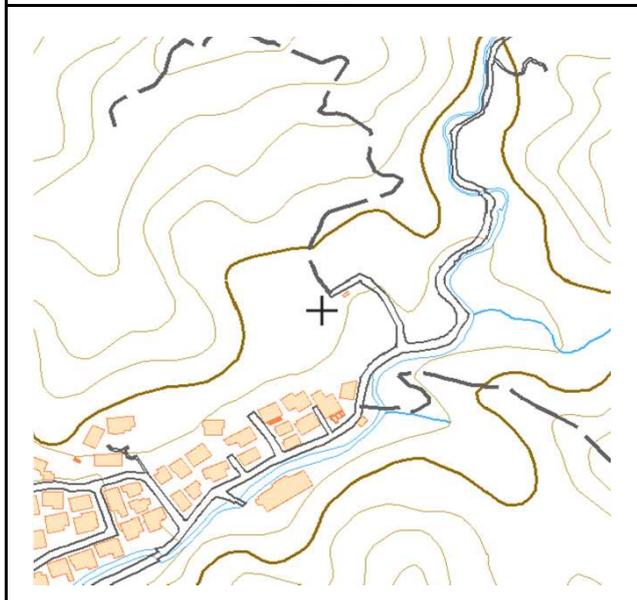
整理番号： 15 - 裏

平成29（2017）年度版

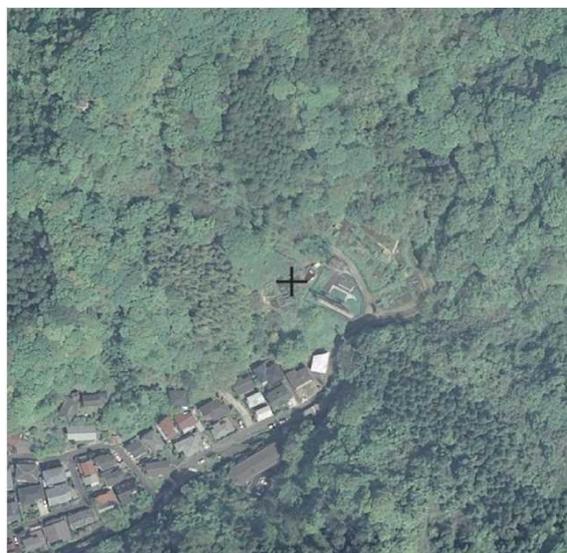
8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>

産業振興課からの依頼で、鎌倉市土地開発公社が市民農園用地として先行取得を行ったが、平成28年2月17日付けで市民農園としての事業目的を廃止。

<支障となっている課題など>

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

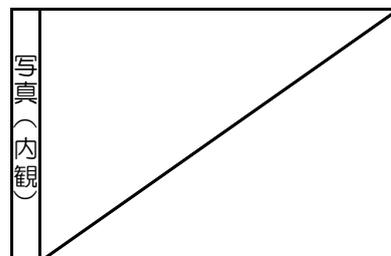
【注記】

- 容積率等の記載内容：（容積率）/（建ぺい率）
- 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより

施設カルテ (案) 整理番号： 16 - 表

平成29(2017)年度版

1.基本情報			
施設名称	ベニガヤツ 旧市営弁ヶ谷住宅用地		
所在地	材木座四丁目540外	設置日	-
行政地域	鎌倉地域	所管部署	総務部管財課
施設分類(再編計画)	(区分外(土地のみ))	設置条例	-
財産区分	普通財産	根拠法	-
具体用途	-	管理形態	直営
設置目的など	昭和26年から平成12年まで市営住宅用地として活用		



2.土地情報			
	敷地面積	路線価	133,000円/㎡
公簿:	8,668.66㎡	取得価額等	-
建築確認:	-	評価額等	-
所有形態	公有地	想定定期借地料	61百万円/年(注)
用途地域等	第一種低層住居専用地域、市街化調整区域		
容積率等	80/40		
その他の地域地区	第2種風致地区/歴史的風土保全地域/宅地造成等規制区域/土砂災害警戒区域/埋蔵文化財包蔵地/建築基準法第22条区域/景観計画区域		
バリアフリー	-		
土地の状況	(安全性、管理の状況など) 平坦なほぼ整形地		
アクセス	鎌倉駅から約1.4km(直線距離)		

3.建物情報			
棟数(主要棟名)	全棟延床面積(M)	建物の状況	
主要棟構造	主要棟延床面積	(老朽化、活用の可能性など)	
主要棟階数	主要棟建築年度	()年	
主要棟耐震性能	取得価額等		
バリアフリー	出入ロースロープ: 多目的トイレ:	建物内スロープ: エレベータ:	

4.防災情報		
災害危険区域等	土砂災害警戒区域	受入避難者数
浸水情報	-	屋内: - 屋外: -
災害対応施設の指定等	-	
周辺の災害対応施設の指定等の状況	第一中学校(避難所)	

5.利用状況		
年間利用数(N)	平成28年度	平成27年度
	-	-
利用状況	子ども広場、材木座自治連合会 防災倉庫、津波避難場所として 利用されている。	

7.管理・運営に係る収入		
	平成28年度	平成27年度
使用料・手数料	-	-
その他	-	-
合計(T)	-	-
利用あたりの収入(T/N)	-	-

6.管理・運営に係る支出		
	平成28年度	平成27年度
指定管理委託料	-	-
事業運営コスト	確認中	
施設コスト(C)		
建物管理委託費等	-	-
光熱水費	-	-
修繕費	-	-
大規模修繕等工事費	-	-
土地・建物等賃借費	-	-
その他	0.1百万円	0.2百万円
減価償却相当額	-	-
合計(P)	0.1百万円	0.2百万円
利用あたりの支出(P/N)	-	-
1㎡あたりの施設コスト(C/M)	-	-

施設カドテ

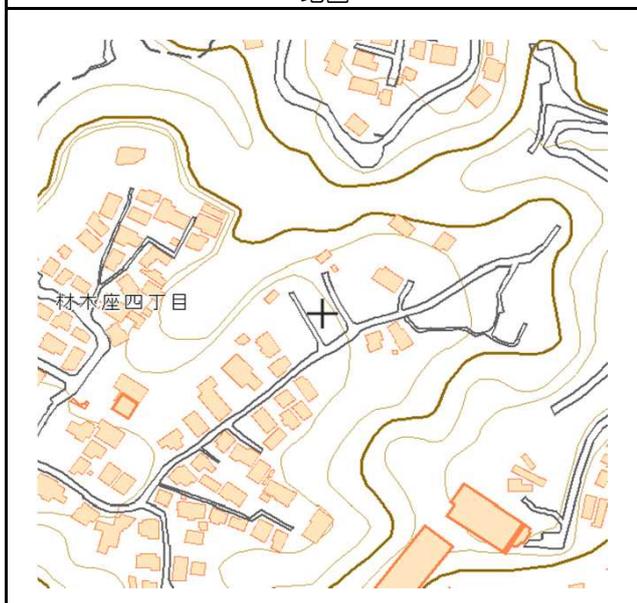
整理番号： 16 - 裏

平成29（2017）年度版

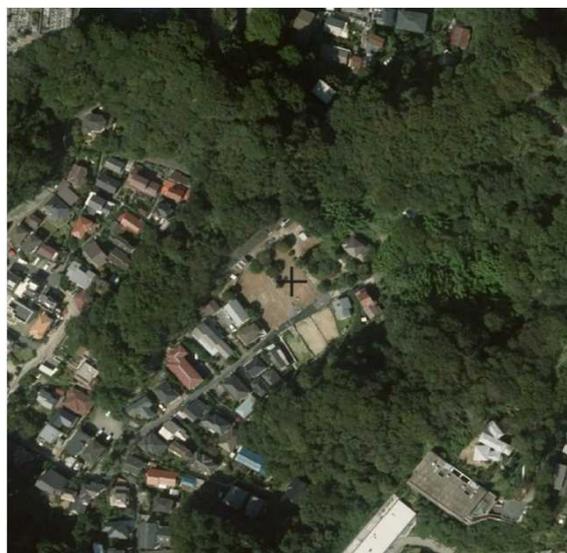
8.大規模工事履歴

年度	工事名称	金額	概要

地図



航空写真



9.検討経過

<検討経過など>

戸建住宅用地として分譲する事業展開が検討された経過あり。

<支障となっている課題など>

10.市民ニーズ・行政課題

<行政地域面>

<個別施設面>

11.サウンディング調査

12.利活用の方向性

備考

周辺の主な公共施設

- ・ 第一中学校

【注記】

- ・ 容積率等の記載内容：（容積率） / （建ぺい率）
- ・ 想定借地料単価：7,000円/㎡・年
（鎌倉市公共施設再編計画におけるコスト試算単価）
- ・ 地図及び航空写真は国土地理院ホームページより